

Copyright Notice

This document is provided under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0):

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>

You are free to:

- Share — copy and redistribute the material in any medium or format
- Adapt — remix, transform, and build upon the material

Under the following terms:

- Attribution — You must give appropriate credit to the publisher, provide a link to the license, and indicate if changes were made. You may do so in any reasonable manner, but not in any way that suggests the licensor endorses you or your use.
- NonCommercial — You may not use the material for commercial purposes.
- ShareAlike — If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

About the Project

This document was created with the permission of participating publishers as part of the Japanese Multi-Volume Sets Discoverability Improvement Project, funded by the Council on East Asian Libraries and the Mellon Foundation for Innovation Grants for East Asian Librarians.

『記録映画』 解説・総目次・索引

不二出版

『記録映画』特集一覧

巻号	発行年月	特集
第二卷第三号	一九五九年三月	マス・コミ時代の記録・教育映画
第二卷第四号	一九五九年四月	教育映画を模索する
第二卷第七号	一九五九年七月	科学映画は変革への行動を開始する
第二卷第八号	一九五九年八月	記録映画の戦後体験
第二卷第一〇号	一九五九年一〇月	映画運動の展望
第二卷第一一号	一九五九年十一月	映画運動一九五九年／映画「安保条約」を批判する
第二卷第一二号	一九五九年十二月	現代の方法を探究する
第三卷第二号	一九六〇年二月	記録映画の今日的課題「失業・炭鉱合理化との闘い」
第三卷第三号	一九六〇年三月	社会教育映画
第三卷第四号	一九六〇年四月	モンタージュの再検討
第三卷第五号	一九六〇年五月	映画と教育／作家の発言
第三卷第六号	一九六〇年六月	創造的想像力
第三卷第七号	一九六〇年七月	映画表現の技術
第三卷第八号	一九六〇年八月	批評精神の再組織
第三卷第九号	一九六〇年九月	現代のマスコミ
第三卷第一〇号	一九六〇年一〇月	現代の疎外と作家／「一九六〇年六月」を批判する

第三卷第一号	一九六〇年一月	映画表現の可能性と実験性
第三卷第一二号	一九六〇年一二月	映画における抵抗
第四卷第二号	一九六一年二月	シナリオ論
第四卷第三号	一九六一年三月	現代モダニズム批判
第四卷第四号	一九六一年四月	日常性とその破壊の論理
第四卷第五号	一九六一年五月	現代のリアリズム
第四卷第六号	一九六一年六月	現代のエモーション
第四卷第七号	一九六一年七月	ニュース映画とドキュメンタリー
第四卷第八号	一九六一年八月	私の方法論
第四卷第九号	一九六一年九月	ドキュメンタリーの現代的視座Ⅰ——評論疎外の記録／ ドキュメンタリーの現代的視座Ⅱ——作品「西陣」をめぐる
第四卷第一〇号	一九六一年一〇月	映画と思想
第四卷第一一号	一九六一年十一月	記録映画作家研究——作家の発言と作家論
第四卷第一二号	一九六一年十二月	一九六一年の記録映画界
第五卷第一号	一九六二年一月	私の記録映画論——各界からの苦言と提言
第五卷第二号	一九六二年二月	芸術的前衛のヴィジョン
第五卷第三号	一九六二年三月	新人の条件
第五卷第四号	一九六二年四月	発見と創造

第五卷第五号	一九六二年五月	大衆論
第五卷第六号	一九六二年六月	映画・インターナショナル
第五卷第七号	一九六二年七月	アニメーション
第五卷第八号	一九六二年八月	シナリオ特集
第五卷第九号	一九六二年九月	テレビ・ドキュメンタリー
第五卷第一〇号	一九六二年十一月	映画状況の現在
第五卷第一一号	一九六二年十二月	映画状況とその展望
第六卷第一号	一九六三年一月	PR映画の可能性
第六卷第二号	一九六三年二月	ドキュメンタリーと“発想”
第六卷第三号	一九六三年三月	虚構の意味
第六卷第四号	一九六三年四月	映像表現と聴覚性
第六卷第五号	一九六三年五月	「非芸術」との対決
第六卷第六号	一九六三年七月	映画と宣伝
第六卷第八号	一九六三年九月	現代映画作家論（I）——ドキュメンタリーとアバンギャルド
第六卷第九号	一九六三年一〇月	二十代からの発言
第六卷第一〇号	一九六三年十一月	映画運動のゆくえ
第七卷第一号	一九六四年一月	現代映画作家論（II）

Ⅲ 総目次

『記録映画』総目次・凡例

- 一、仮名遣いは原文のままとした。
また、明らかな誤植については訂正し、脱字は補った。
- 一、標題は本文に従った。副題および小題は基本的に――（ダッシュ）のあとに示した。
- 一、*印は編集部の補足であることを示す。
- 一、総目次はできるだけ詳細に記載するよう努めたが、目次、奥付、広告等には触れなかった。
- 一、原本に頁数表記のない場合は、頁数に（ ）を付した。

（編集部）

第一巻第一号〈創刊号〉 一九五八(昭和三三)年六月五日

写真 アンコールトムの浮彫(「民族の河メコ

ン」読売映画社)

表紙

(*新作紹介グラフ)

ミクロの世界(東京シネマ) / 井川五郎ダム

(英映画社) / どこかで春が(新映画プロ共同)

/ 法隆寺(岩波映画) / 東京1958(シネマ

58同人) / 古代の美(岩波映画) / オモニ

と少年(民芸映画社) / 道産子(芸術映画社)

/ 盗まれた虚栄(東映教育映画) 前付1 / 前付4

発刊のことば 教育映画作家協会 1 / 2

『記録映画』発刊によせて 阿部 慎一 2

戦後の記録映画運動①——「記録教育映画製作

協議会」の運動を中心に 吉見 泰 3 / 5

書評

アンリ・アジェル著、岡田真吉訳『映画の美

学』 野田 真吉 5

中野重治著『映画雑感——素人の心もち』

岩佐 氏寿 11

羽仁進著『演技しない主役たち——記録映画

作家の眼から』 谷川 義雄 19

前衛記録映画の方法について 松本 俊夫 6 / 11

「アラン・ルネエ」とフランス記録映画 宮本 正名 8 / 9

座談会 教育映画をめぐる

岩佐氏寿 / 大久保正太郎 / 森和子 / 吉見泰 /

岡田好枝 / 菅忠道 / かんけ・まり / 鈴木幹人

/ 海貝英子 / 谷川義雄 / 山家和子 / 佐木秋夫 12 / 19

メソポタミアの経験——優越感について

桑野 茂 20 / 23

作品評 「この目で見たソ連」——西独映画

時実 象平 24

対談 「おふくろのバス旅行」と「きよちゃん

の日記」 厚木たか / 藤原智子 / 編集部 25 / 29

プロダクション日より 26 / 27・31

科学映画「死を運命づけられた人々の命のため

に」 ゲ・イワノワ 28 / 29

現場通信

下水へもぐった話	小泉 堯	30	花田清輝著『映画的思考』	松本 俊夫	24
「忘れられた土地」について	野田 真吉	30	実践的、前衛記録映画の方法	渡辺 正己	6
「人災」ミクロの世界——結核菌を追って」	杉山 正美	31	9月号予告	7	8
ワイド・スクリーン			「ミクロの世界——結核菌を追って」の製作始末記	岡田 桑三	9
深江正彦／河野哲二／松本俊夫／楠木徳男／日高昭／勝田光俊／島谷陽一郎／八木仁平	岩 佐	32	記録映画はブームを起しているか——劇場上映された長編記録映画から	小島 義史	12
編集後記			海外だより 東欧の人形劇映画——チェコの旅から帰つて	川尻 泰司	14
カット	朝倉 撰	32	お詫び	編集部	14
第一巻第一号 一九五八(昭和三三)年八月一日			現場通信		15
写真 「受胎の神秘」(日映科学映画)		表紙	ロケセット	豊田 敬太	16
時評 非選定映画をめぐって		3	「赤石の山峡」	苗田 康夫	16
戦後の記録映画運動②——「記録教育映画製作協議会」の運動を中心に	吉見 泰	4	社会教育映画「いろいろ学級」	松岡 新也	17
書評		5	プロダクションニュース		18
岩崎昶著『現代日本の映画』	岩 佐	5	新作紹介グラフ		24
集団製作の近代化——『芸術の創作』(芸術心理学講座3)	吉 見	11	若き美と力(日本映画新社)／アンデスを越えて(毎日映画社)／千羽鶴(共同映画)中四国共同)／めがね小僧(民芸)／忘れられた土地(東京フィルム)／野鳥の生態(新理研)／		

荒海に生きる(日本ドキュメント)／こわさ
れた友情(東映)／いろいろ学級(マツオカプロ
ダクション)

(19)～(22)

ワイド・スクリーン

村田達二／桑野茂／西尾善介／豊田敬太／永
富映次郎／小谷田巨／榛葉豊明／入江勝也／
徳永瑞夫／藤原智子／岩堀喜久男／中島日出
夫／野田真吉／厚木たか／編集部

23～24

シナリオ(コンティニューイテイ) 「忘れられ

た土地」(全三巻)——生活の記録シリーズⅡ

野田 真吉 25～38

編集後記

岩 佐 38

カット

朝倉 撰

第一巻第二号 一九五八(昭和三三)年九月一日

写真 「海は生きている」(岩波映画)より

表紙

時評 科学映画と映画館

3

自然科学映画の発展のために 吉見 泰 4～8・25

「受胎の科学」が神秘になるまでの裏話

(19)～(22)

海外だより 科学映画とはなにか

奥山大六郎 9～10

レモ・ブランカ／田中ひろし(訳)

11

座談会 「黒部峡谷」

西尾善介／福田蓼汀／村井米子／編集部

12～17

「ちびくろさんぼ」が入選児童優秀映画賞！／

国学院大学映研で記録映画「山に生きる子ら」

製作

17

ワイド・スクリーン

久保田義久／能登節雄／丸山章治／京極高英

／羽田澄子

17

アジアの映画を見る会の感想

高橋 智江

17

プロダクションニュース

18

新作紹介グラフ

地下鉄(新理研)／東京の水道(日映新社)／

肺戦記(読売映画社)／電話(読売映画社)／

X線と結核(読売映画)／太陽と地球の動き

(三笠映画)／気象と火事(日映科学)／家庭

音楽会(東映教育映画部)／童画(近代映協・

山本プロ共同)

(19)～(22)

記録映画の方法——明るいとすることなど思うまゝ	京極 高英	23	「千羽鶴」の上映運動について	坂齋小一郎	37
書評 佐々木基一著『現代の映画——その思想と方法』	岩 佐	25	雨を待って	間宮 則夫	38
アニメーション映画の技術	岡本 昌雄	26	編集後記	岩 佐	38
10月号予告		27	カット	朝倉撰／粟津潔／岩佐氏寿	
戦後の記録映画運動③——「記録教育映画製作協議会」の運動を中心に	吉見 泰	28	第一巻第三号	一九五八(昭和三三)年一〇月一日	
ヨーロッパの旅から チェッコの映画祭のぞき記	厚木 たか	30	写真 南米パタゴニア探検(「大氷河を行く」毎日映画社)		
「ミクロの世界」受賞——ベニス国際記録映画祭		32	時評 再び記録短篇の劇場上映について		表紙
観客のページ			「戦後の記録映画運動」をめぐって		3
「記録映画を見る会」の三日間	足立 興一	33	記録映画の観客(1)——特に会員制のグループについて	高島 一男	4
記録映画を見る運動を進めていくねらいは	藤原 富造	34	木村莊十二大いに語る——「千羽鶴」について		6
「記録映画研究会」を続けたい	山岸 一章	34	上半期の話題作	木村莊十二／編集部	9
最近の記録映画について	岩佐 氏寿	35	第三回児童劇映画筋書募集中締切十月十日まで!	加藤松三郎	12
第一回教育映画コンクール各部門入賞作品きまる		36	現場通信		15
沖縄の印象	田中 実	37	／一九五八年教育映画祭のお知らせ		
			ヨーロッパの旅から チェッコの映画祭のぞき		15

記(下) 厚木 たか 16 17

「第五福竜丸」撮影進む——海外から激励の手紙続々

観客のページ
第一回「アジア映画を見る会」の成功を顧みて
阿部 政雄 23

プロダクションニュース 18

優秀短篇映画を見る会を続けるにあたり
森 貞夫 23

題名「十一人の越冬隊」完成——南極の越冬生活

活を記録! 18

夢と幻想の作家たち——アニメーションの第一人者を訪ねて

新作紹介グラフ

大藤信郎／山本善次郎／藪下泰司／岡本昌雄 24 27

小さな仲間(桜映画社)／ふるさとは豊かなり(全国農映)／おばあちゃんあやまる(桜映画社)／切手のいらぬ手紙(東映教育映画部)／はばとび(モーショントゥイズ)／日のあたる子供たち(富士映画)／水ぐるま(モーショントゥイズ)／叱るもの叱られるもの(日映新社)／空洞を探る(日映科学)／日本の祭り(東映教育映画部)／板硝子(岩波映画)／希望をのせて(アジア映画)／鳥の親と子(日本視覚教材)／かまきり(東映教育映画部)／海水のはたらき(モーショントゥイズ)／どうぶつのおやこ(学研映画部)

現場通信
世界への良心のともしびをかかげよう!——平和行進と第四回原水爆禁止世界大会の撮影に参加して
楠木 徳男 28 30
家内工業の大撮影
川本 博康 30
精薄尻に負ける
富岡 捷 31
シナリオハンティングで拾った話(その一)
岩佐 氏寿 31
読者の声
堀 章男 30
続ぶっつけ本番(1) 水野肇／小笠原基生 32 33
一九五八年国民文化全国集会／虫の世界をおって三年がかりで撮影完成!

映画部 (19) (22) 33

記録映画「山に生きる子ら」製作ルポ

野田 真吉 4～6

川名 次雄 34～36

第三回児童演劇会議開かる

「青少年映画対策としての入場税減免に関する
陳情」運動はじまる 6

海外だより 中国の記録映画

「忘れられた土地」記録映画研究会 座談会

ハオ・ハン／中沢克也(訳) 37

高島一男／野田真吉／谷川義雄／坂田邦臣／
宮崎彰／西本祥子／河野哲二／山岸一章／吉

ワイド・スクリーン

見泰／八幡省三／大島辰雄 7～11

西尾善介／久保田義久／豊田敬太／仲原湧作

教育映画総合振興会議十月十八日テーマをきめ

／松本俊夫／永富映次郎／平田繁次／深江正

開催

彦／岩崎太郎／編集部

最近の記録映画について(2) 岩佐 氏寿 12～13

11月号予告 38

外国短篇映画枠外 外貨割当作品きまる！ 13

編集後記

山之内 38

児童劇映画について——その歴史的あらまし

カット

朝倉撰／粟津潔

道林 一郎 14～15

第一巻第四号 一九五八(昭和三三)年一月一日

第六回子どもを守る文化会議長野で開催 15

写真 「ミクロの世界」(東京シネマ)撮影スナップ

大島 辰雄 16～18・23

表紙

国際短篇映画紹介(グラフ)

時評 教育映画祭を迎えて

3

ヨハネ・ケプラーの業績(ドイツ)／リンカー

アクチユアリティの創造的劇化——ドキュメン

ンの顔(アメリカ)／空の鏡(イギリス)／

タリー方法論についてのノート(その一)

古都フィレユツェ(イタリア・色彩)／熱い

大地(ニュージールランド)

(19)

勤評と映画

山家 和子 24 ~ 25

1958年教育映画祭入選作品(グラフ)

記録映画の観客(2)——特に会員制のグルー

日本の気象(日本視覚教材株式会社) / 飛脚

プについて

榎 英輔 26 ~ 27

(記録映画社) / モンシロチョウ(学習研究

続ぶっつけ本番(2)

水野肇 / 小笠原基生

28 ~ 30

社映画部) / ミクロの世界(東京キネマ) /

教育映画祭をめぐって

加納 竜一 30 ~ 31

おらうちの嫁(共同映画社) / 一枚のふとん

作品評

(教育映画) / 五十万の電話(岩波映画製作

奥さんの名前を書いたコップのシーンに感動

所) / 切手のいらぬ手紙(東映教育映画部)

——「十一人の越冬隊」

河野 哲二 32

／古都の美(岩波映画製作所) / ペンギンぼ

命をかけて愛し合っているのに?——長編色

うやるとキキ(電通映画社) / めがね小僧

彩漫画「白蛇伝」

長井 泰治 33

(民芸映画部) / オモニと少年(民芸映画社)

海外だより トルンカの「真夏の夜の夢」

／家庭音楽会(東映教育映画部)

(20) ~ (21)

岩淵 正嘉(訳)

34

新作紹介(グラフ)

12月予告

かあちゃんの生産学級(農山漁村文化協会)

第三回国民文化会議全国集会ルポ

島谷陽一郎 35

／下水道(岩波映画製作所) / でんでん虫の

観客のページ

歌(桜映画社) / 鳩ははぐたく(原水爆禁止

「忘れられた土地」の問題点

浅井 栄一 36 ~ 37

日本協議会) / 伸びゆく力(新理研映画株式

非選定映画をめぐって

川名 次雄 37 ~ 38

会社)

プロダクションニュース

36 ~ 38

一九五八年教育映画祭

ワイド・スクリーン

第二回日本紹介映画コンクール

入江一彰 / 大沼鉄郎 / 山本竹良 / 杉原せつ /

永富映次郎／能登節雄

編集後記

岡本

38

カット

栗津潔／朝倉撰／田中弥壮

タリー方法論についてのノート(その二)

野田 真吉 11
野田 真吉 14

第一巻第五号 一九五八(昭和三三)年二月一日

総会を十二月二七日に教育映画作家の一年の総結
1958年度教育映画祭作品評

国内 「もんしろちょう」を中心に 14

写真 黒部溪谷第二部「地底の凱歌」(日本映

画新社)

表紙

外国 面白いようでつまらない映画とつまら 吉見 泰 15
ないようで面白い映画 大沼 鉄郎 16
児童劇映画と児童 古川 良範 16
黒部映谷第2部 地底の凱歌(日本映画新社) 17
(写真頁) (19)

時評 警職法の改悪と記録・教育映画

追りくる危機と作家の主体

警職法改悪に私

松本 俊夫 4

この子と共に(新理研映画)／カブトムシの 研究(学研映画)／正男君のラジオ(日映科 学)／かっぱの嫁とり(全農映)／わたしの おかあさん(東映)／蜜蜂のちえ(東映) (20
アラシ・レネエの作品(写真頁) (21)

記録映画・教育映画における「暗い谷間」の想

い出

私は逮捕された

亀井 文夫 6

スタスタにされてやっと上映 水木 荘也 7

プロキノの頃

上野 耕三 8

農民の顔のアップもカット 厚木 たか 9

声明書 教育映画作家協会運営委員会

カットされた警職法ニュース

10

アクチュアリティの創造的劇化——ドキュメン

10

「ピカドン」改題 ヒロシマ・わが恋(1

アラン・レネエにきく

アラン・レネエ／大島辰雄

23
37

(22)

ワイド・スクリーン

木村莊十二／永富映次郎／黒木和雄／岡本昌雄／大久保信哉／八木仁平／高綱則之／野田真吉／丸山章治

真吉／丸山章治

27

“青少年向映画の劇場上映”など決議——第四

回映画観客団体全国会議

教材映画の世界

永原 幸男

28
29

第12回国際科学映画協会大会に出る

岡田 桑三

30
31

続ぶっつけ本番(3)

水野肇／小笠原基生

32
34

子どもをとりまくこの現状——第六回子どもを

岩佐 氏寿

34
35

プロダクションニュース

現場通信

人形映画「かつばの嫁とり」始末記

杉原 せつ

36

西陣の人々

藤原 智子

37

観客のページ 岡山映画サークル16ミリ会報告

寺沢 建

38

編集後記

丸山／松本

38

第二巻第一号 一九五九(昭和三四)年一月一日

写真「五千羽のイワツバメ」(東映教育映画部)

表紙

時評 新しい年を迎えて

3

フィクションについて

榎木 恭介

4
5

PR映画の考え方

石本 統吉

6
7

アクチュアリティの創造的劇化——ドキュメン

タリー方法論についてのノート(その三)

野田 真吉

8
11

訂正

11

記録映画の範囲の拡大——「松川事件・フィルムによる証言」を撮って

羽仁 進

12
13

書店購読の皆さんへ

教育映画作家協会

13

白い少女をもとめて——映画における少年少女像

大島 辰雄

14
16

女流作家の生活と意見

女流作家の生活と意見

新作紹介(写真頁)
西本祥子／羽田澄子／山口淳子 16～18

九年の歳月はかえられない(東京映画社)／
バルーチャン建設(岩波映画)／母と子(民
芸映画社)／第五福竜丸(近代映画協会・新
世紀映画共同)／面接のしかた(東映)／南
方定点観測船(新映画実業)／日本の工業地
帯(日映新社)／五千羽のイワツバメ(東映)
／最上川風土記(桜映画社) (19)～(21)

亀井文夫作品集(写真頁)
生きていてよかった／流血の記録・砂川／世
界は恐怖する／怒濤を蹴って／上海／小林一
茶 (22)

記録映画の社会変革実行力——我が国ドキュメ
ンタリーフィルムの先覚者亀井文夫にきく
亀井文夫／長野千秋／松本俊夫／渡辺正己 23～29
観客組織の展望と今後 鈴木 幹人 30～31
続ぶっつけ本番(4) 水野肇／小笠原基生 32～33
現場通信

伊豆に憶う 八木 進 34

ある反省 深江 正彦 34～35
観客のページ

最近の記録映画雑感 小野 善雄 36～37
ささやかな疑問 吉川 透 37
プロダクションニュース
ワイド・スクリーン 38
永富映次郎／富岡捷／丸山章治／久保田義久
／榛葉豊明 38
編集後記 岩佐 氏寿 38

第二巻第二号 一九五九(昭和三四)年二月一日

写真 デイズニープロ作品「ペリ」撮影風景 表紙
時評 『記録映画』の自主発行について 3
「物」のはずみについて 長谷川龍生 4～5
社会教育映画をめぐるその問題点と今後の方
向——社会教育映画試写研究会から(座談会)
河野哲二／梅田克己／小川紳介／西沢豪／岩
佐氏寿／川名次雄／大島辰雄／京極高英／小
津淳三／花松正卜 6～10

社会教育映画における主体性について

谷川 義雄 11～14

女流作家の生活と意見?

時枝 俊江 15

教育映画作家協会第五回定例総会から

問題意識に根ざしたグループ活動を

吉見 泰 16～17

修正主義に反対し、二・三の反則を論ず——

〈主体性〉論への提言(その1)

花松 正ト 17～18

新作紹介(写真頁)

小さきものの世界(生物映画研究所・映配株式

会社共同)／悪法(教育映画作家協会・民

芸・自映連・共同映画社)／肝臓(東京シネ

マ)／チョゴリザ登頂(日映新社)／ぼくら

も負けない(東映)／ピアノへの招待(日映

科学)／技能と経験(第一映画社)／昔の農

民(記録映画社)

記録映画製作協議会の作品(写真頁)

日鋼室蘭／メーデー／朝鮮の子／月の輪古墳

／米

(22)

戦後記録映画運動についての一考察——記録映

画製作協議会の運動について

野田 真吉 23～25・14

映画は道德教育に役立つか

訂正

要約シナリオ ヒロシマ・わが恋(マルグリー

ト・デュラ原案)

二つの外国記録映画・作品評

魔術師の限界(ウォルト・ディズニー作品

「ペリ」)

大衆芸能との接点(ドーフィヌフィルム作

品「シャンソン・ド・パリ」 河野 哲二

複眼ドラマ意識(ポーランド映画「影」)

観客のページ 「よい映画を見る会」から

大矢 恒子 32～33

続ぶっつけ本番(5)

現場通信

立山を背景に

私は「現実」を二度のぞいた——「白い船」

樋口源一郎 36～37

水野肇／小笠原基生 34～36

ロケだより

荒井 英郎

新作紹介 (*写真頁)

プロダクションニュース

37

瀬戸内海 (日映新社) / 動物の子どもたち

読者拡大運動に御協力下さい

38

(日本視覚教材) / おさらいのしかた (東映) / おてつだいのしかた (東映) / 注文の多い料理店 (学習研究社) / 多摩動物園 (新映画実業) / 都会と空と (北欧映画) / 悪魔の発明 (チェコフィルム) / 沈清伝 (朝鮮国立芸術映画) / 人形は生きている (チェコスロバキア国立映画)

編集後記

谷川

38

第二巻第三号 一九五九 (昭和三四) 年三月一日

写真 「青銅の顔」 (スイス映画)

表紙

時評 機関誌を理論と実践の前進の場に

3

ライネツケ・フックス

花田 清輝

4 / 5

特集 マス・コミ時代の記録・教育映画

6 / 8

鼠の責任について

大沼 鉄郎

6 / 8

「太陽」と「風」

厚木 たか

9

マス・コミありがとう

矢部 正男

10 / 11

虎穴に入って虎に食われた話

テレビ時代

12 / 13

ルポルタージュ テレビ映画・金と時間と人間の合戦記

桑野 茂

12 / 13

の合戦記

14 / 16

女流作家の生活と意見 その3

16 / 18

杉原せつ / 藤原智子 / かんけ・まり

16 / 18

作品評

空想科学と映画技術——「悪魔の発明」 (チエコ)

29

苗田 康夫

29

「片隅の事実」は主張する——〈主体性〉論への提言 その2

23 / 25

最近の記録映画 (3)

花松 正卜

23 / 25

書評

岩佐 氏寿

26 / 28

庶民の中で庶民を追求——佐藤忠男著『裸の日本人』

杉山 正美

28

記録主義のエッセイ——安部公房著『裁かれる記録』

野田 真吉

32 / 33

野田 真吉

32 / 33

野田 真吉

32 / 33

野田 真吉

32 / 33

野田 真吉

32 / 33

野田 真吉

32 / 33

野田 真吉

32 / 33

続ぶっつけ本番(6) 水野肇／小笠原基生 30～31

エミールと生きている人形——子どもとアクション

大島 辰雄 32～33・8

現場通信

キヨロロンの声 岩崎 太郎 34～35

ジェットを追って北海道を天駆ける記

永富映次郎 35～36

ワイド・スクリーン

古川良範／深江正彦／花松正ト／西尾善介／

丸山章治／能登節雄／楠木徳男／吉見泰／杉

原せつ／村田達二／永富映次郎／渡辺正己／

西田真佐雄／岡本昌雄／菅家陳彦

プロダクションニュース

読者は増加しつつある——なお一層の協力と運

動を 38

新編集委員決定

編集後記

吉見 泰 38

第二巻第四号 一九五九(昭和三四)年四月一日

写真 「昆虫の口とたべもの」(東映教育映画

部) 表紙

時評 教育映画とは何か 3

視聴覚的人間形成の問題点 乾 孝 4～5

特集 教育映画を模索する

「教育」映画よさようなら 丸山 章治 6～7

ぼくの乱視 岡本 昌雄 7

教育映画の自由 岩佐 氏寿 8～11

教育映画をひろめる会 鈴木喜代春 12～13

教室と映画を結ぶもの

ぼくは困っている——曲り角の児童たち 大島 辰雄 14～15

学校教育映画の問題 高桑 康雄 16～18

新作紹介(写真頁)

醤油(岩波映画)／大気汚染(神奈川ニユー

ス)／眼(読売映画社)／害虫と天敵(理研

科学映画)／僕わかってる(桜映画社)／愛

<p> することと生きること (桜映画社) / 少年猿 飛佐助 (東映) / 瀬戸内海 (関西映画) / 潜 函 (三井芸術プロ) / ふしぎな森の物語 (イ タリー) / 青銅の顔 (スイス) 最近の児童映画 (写真真) </p>	<p> (19) / (21) </p>	<p> 現場通信 「日本の政治」雑感 道德教育について プロダクション・ニュース 読者招待映画会予告 読者拡大について 編集後記 誤植及び訂正 </p>	<p> 山田 和夫 谷川 義雄 間宮 則夫 岩佐 氏寿 </p>	<p> 35・28 36 / 37 37 38 38 38 38 </p>
<p> 社会教育映画の課題 (座談会) 重松敬一 / 豊田敬太 / 田中徹 / 荒井英郎 / 吉 見泰 </p>	<p> 23 / 28 </p>	<p> 第二巻第五号 一九五九 (昭和三四) 年五月一日 </p>		
<p> 大いなる想像力——児童劇映画への作品評的な 註文 ドキュメンタリー映画と商業映画産業——『ド キュメンタリー映画論』より ポール・ローサ、シンクレア・ロード (共著) / 厚木たか (訳) </p>	<p> 佐野美津男 29 / 31 32 / 33 </p>	<p> 写真 「飛鳥美術」 (岩波映画) 時評 記録映画と劇映画 条件乱反射 「日本の政治」をめぐって——総評を囲む座談会 若林理 / 谷川義雄 / 中村利一 / 矢部正男 / 大 沼鉄郎 / 杉山正美 / 野田真吉 </p>	<p> 表紙 3 関根 弘 4 / 5 </p>	
<p> 朝鮮映画のあけぼの「沈清伝」のことなど / 厚木たか (訳) </p>	<p> 32 / 33 </p>	<p> 戦前・戦後のメーカー映画——情熱と斗争の歴 史・その今後 </p>	<p> 山田 和夫 谷川 義雄 間宮 則夫 </p>	<p> 35・28 36 / 37 37 </p>
<p> 「戦艦ポチョムキン」の上映運動について </p>	<p> 34 / 35 </p>	<p> 山内 達一 </p>	<p> 山田 和夫 谷川 義雄 間宮 則夫 </p>	<p> 35・28 36 / 37 37 </p>
<p> 「戦艦ポチョムキン」の上映運動について </p>	<p> 34 / 35 </p>	<p> 山内 達一 </p>	<p> 山田 和夫 谷川 義雄 間宮 則夫 </p>	<p> 35・28 36 / 37 37 </p>
<p> 「戦艦ポチョムキン」の上映運動について </p>	<p> 34 / 35 </p>	<p> 山内 達一 </p>	<p> 山田 和夫 谷川 義雄 間宮 則夫 </p>	<p> 35・28 36 / 37 37 </p>
<p> 「戦艦ポチョムキン」の上映運動について </p>	<p> 34 / 35 </p>	<p> 山内 達一 </p>	<p> 山田 和夫 谷川 義雄 間宮 則夫 </p>	<p> 35・28 36 / 37 37 </p>

作家の内部世界をどうとらえるか——〈作家主			
体論争〉への一つの異見	丸山 章治	12	14
教材映画のあり方——その小さな対象の問題			
	石田 修	15	16
第二回読者招待特別試写会「記録映画を見る会」			
として——五月二二・二三日に		16	
創作への条件——本論を書く前にちよっとひと言			
	吉見 泰	17	
プロダクション・ニュース		18	
新作紹介(写真頁)			
飛鳥美術(岩波映画)／おやじ(共同映画社・			
記録映画社)／おいししゃさん(学研映画部)			
／ラジオのある教室(日映科学)／九州地方			
(東映)／鉄道郵便車(三木映画社)／偉大			
なる建設(マツオカ・プロ)／心と病気(桜			
映画社)／東京の生活(新世界プロ)	(19)		(21)
イギリス短篇映画(写真頁)			
小さな島／ハレムの一夜(ファンタジアプロ)	(22)		
時評的試論 恋人たちをさえぎる汚れた手——			
「恋人たち」(ルイ・マル)の税関カット問題			
自主上映促進全国協議会へ	大島 辰雄	23	27
プログラムにない一幕——「皇太子結婚のニュー	山之内	27	
ス・記録映画」を見る	玉井 五一	28	29
非現実性のアクチュアリテイ——芸術大衆化に			
関する一考察	野田 真吉	30	34
海外だより			
チエコ あやつり人形による映画「ファウス			
ト」	岩淵 正嘉	34	
記録映画を見る会御案内		34	
作品評 小動物の標本的羅列——「小さきもの			
の世界」	谷川 義雄	35	
現場通信			
創作日誌から	岩堀喜久男	36	37
闘いの日々——「春を呼ぶ子ら」	ロケ日より		
	神原 照夫	37	
イタリア映画祭ちらり 決算期に来たネオ・レ			
アリズモ	大沼 鉄郎	38	
編集後記	谷	38	

写真 「二十四時間の情事」(日仏合作)	表紙	陰の生活(日映新社)／東海の春(日映新社) ／三十二人のきょうだい(日本短篇映画)／ ネンネコおんぶ(日経映画社)／伸びゆくス ライド・ファスナー(岩波映画)／セーヌの 詩(仏・ガランスプロ)／灰とダイヤモンド (ポーランド国立映画カードル・プロ)
時評 創刊一周年を迎えて	3	注目される二つの劇映画(*写真頁)
子どもに「悪」を!——通俗児童映画の現在性	4～5	二十四時間の情事(大映・パテ・オーバシー ズ合作)／素晴らしき娘たち(東映)
作家の主体とドキュメンタリーの方法	佐藤 忠男	座談会 記録映画のカメラマン
倒錯者の論理——主体論の再検討のために	(1) 松本 俊夫	白井茂／林田重男／岩佐氏寿
	6～9	ドキュメンタリーはどこへ行く——『ドキュメ ンタリー映画論』2
死体解剖と生体解剖——ドキュメンタリー方	石子 順造	ポール・ローサ、シンクレア・ロード(共著)
法論批判	9～13	／厚木たか(訳)
誤植訂正	13	社会主義社会を建設する映画作家たち——ソ連 映画人を囲む座談会報告
映画は現実の子どもをとらえているか	古田 足日	大沼 鉄郎
	14～17	30～32
宣伝部員としての作家——感動的なものの少な い1959年度P・R映画祭	大島 正明	28～30
新作映画紹介(*写真頁)	17	「おやじ」 何といじらしいこのおやじ
らくがき黒板(近代映画協会)／すみ子先生		西本 祥子
(東映)／畑地かんがい(記録映画社)／山		33

「らくがき黒板」 リアリティに乏しい児童
劇 川本 博康 34

「飛鳥美術」 黒の階調の美しさ——欲しい

芸術社会学的筋金 樋口源一郎 35

現場通信 カニ船同乗記 西沢 豪 36
37

プロダクションニュース 37
38

編集後記 岩佐 氏寿 38

第二巻第七号 一九五九(昭和三四)年七月一日

写真 「春を呼ぶ子ら」(新世界プロ) 表紙

時評 科学の進歩について 3

衝撃的モニタージュの回復 瀬木 慎一 4
5

特集 科学映画は変革への行動を開始する

日本の自然科学映画的思想について

渡辺 正己 6
8

科学映画論のために——シンポジウムへの報告

吉原 順平 8
11

シンポジウム 科学映画を科学する

吉原順平／吉見泰／矢部正男／岡本昌雄／吉

田六郎／長野千秋

12
18

新作映画紹介(写真頁)

栗の木と昆虫(理研科学映画)／鉄をつなぐ

火花・第二部(三井芸術プロ)／稲を護る人々

(日映新社)／道徳を育てる生徒たち(日経

映画社)／高速道路(日映新社)／武士のく

らし(記録映画社)／うわさはひろがる(科

学映画社)／かんぶつや(日経映画社)／雨

水のゆくえ(日本視覚教材)／X線撮影法の

進歩(日映科学)／話のしかた(東京フィル

ム)／お母さんの耳は買えない(東映教育映

画部)／春を呼ぶ子ら(新世界プロ)／馬の

おいたち(日本視覚教材)／南十字の下(イ

タリーフィルム)

(19)
(21)

海外長篇記録映画二つ(写真頁)

アルピニスト岩壁に登る(仏フィルムマルティッ

ク・プロ)／黄色い大地(伊レオナルド・ボ

ンツイ)

(22)

最近の劇映画から(写真頁)

お染久松そよ風日傘(東映)／十二人の怒れ

る男(米オリオン・ノヴァ・プロ)

(22)

自主映画「釘と靴下の対話」を用意したもの――

日本大学芸術学部映画学科映画研究会33年度

作品について

平野 克己 23〜25

作品研究

新鮮な残像が愉しい「潮の合い間」・作家内

部が知りたい「蜂の国の驚異」

岡本 昌雄 26〜27

平和のイマージュ「同じ空の下に」について

野田 真吉 28〜30

作品評

「素晴らしき娘たち」 人間性への信頼に好感

かんげ・まり 30

「春を呼ぶ子ら」 外側からの貧しさの展望

苗田 康夫 31

P・R映画スポンサーの側から――作家宣伝部

員説に物申す 柳田 守 32〜33

引かれものの小唄――岩堀喜久男氏に答える

日高 昭 33

ドキュメンタリーはどこへ行く?――『ドキュ

メンタリー映画論』3

ポール・ローサ、シンクレア・ロード(共著)

／厚木たか(訳)

34〜36

書評『P・R映画年鑑』一見非の打ちどころ

ない集大成――だが内容に幅が欲しい気もす

る 加藤松三郎 36

八月号予告

現場通信 超大・超々遅々 高島 一男 37

記録映画を見る会7月例会案内

プロダクションニュース 野田 38

編集後記

第二巻第八号 一九五九(昭和三四)年八月一日

写真 「アルピニスト・岩壁に登る」(仏フイ

ルマルティック・プロ) 表紙

時評 安保条約改定と記録・教育映画 3

ヤンガー・ジェネレーションの戦後意識

特集 記録映画の戦後体験 武井 昭夫 4〜7

それは挫折したがこれからだと思う

大沼 鉄郎 23 ~ 24

京極 高英 8 ~ 10

君は何も見っていない——シンポジウム「二十四

桑野 茂 10 ~ 14

時間の情事」(「ヒロシマわが恋人」)

厚木 たか 14 ~ 15

榎木恭介／松本俊夫／大島辰雄／大沼鉄郎／

高島 一男 15 ~ 17

高島一男 24 ~ 31

なぜわれわれは安保条約反対の映画を作るか

産業文化映画祭開く——八月十三日~九月四日

富沢 幸男 18

第一回児童文学全国集会の試み 31

新作映画紹介(写真頁)

ガン細胞／円の研究(16ミリ映画社)／発明

マス・コミは反動化する その送り手と受け手

ハッチャン・新案シンちゃん(山本プロ)／

の問題——国民文化会議映画部会マス・コミ 33

新しい働き者(三井芸術プロ)／雛の上手な

研究会レポート 山之内重己／大沼鉄郎 33

育て方(世界文化映画社)／私たちの水泳

記録映画を見る会八月例会案内

(岩波映画)／コンクリートを科学する(岩

「記録映画を見る会」第二回研究会のお知らせ

波映画)／シンクロリーダー(読売映画社)

「敗戦」と「戦後」の不在——主体論の再検討 34 ~ 36

／ぐちつばいおかあさん(東映教育映画部)

のために(2) 松本 俊夫 34 ~ 36

／みんな看護婦さん(社会教育映画社)／私

作品寸評 「花嫁の峰 チョゴリザ」 杉山 正美 37

はキャプテン(新東宝教育映画部)／日本の

「アルピニスト岩壁に登る」 林田 重男 37

郵便(三木映画社)／深海三千米の神秘(日

エチエンヌペリの佳篇「ビュツフェの芸術」

映新社)／日本のあけぼの(学研映画部)

(19) ~ (22)

大島 辰雄 37

ヒロシマ・わが想い——シンポジウムのための

プロダクション・ニュース 大島 辰雄 38

編集後記

野田 38

第二巻第九号 一九五九(昭和三四)年九月一日

写真 「釘と靴下の対話」(日本大学芸術学部)

映画学科映画研究会)

表紙

時評 松川裁判から安保改定まで

3

記録映画と政治

佐々木基一 4~5

政治的現実と作家の問題

政治と作家——創作への条件(2)

吉見 泰 6~8

不毛の倫理・〈主体論〉からの解放

花松 正ト 8~13

映画「安保条約」(二巻)が完成しました。

13

東映児童劇映画について

佐野美津男 14~15

研究資料 アヴァンギャルド記録映画について

の若干の考察

ヨリス・イヴェンス／大島辰雄(訳) 16~18

「記録映画の友の会」をつくらう

18

新作映画紹介(*写真頁)

海壁(岩波映画)／強く明るいできる子に

(新世界プロ)／裁判のABC(日映新社)

／空の駅(凡ぶろ)／鮎の一生(映画日本社)

小林プロ)／越後平野の米づくり(日経映画

社)／たくましい仲間(日本フィルム)／東

北の農村(日映新社)／税関のしごと(モー

シヨントイムス)

(19)~(22)

内外二つの劇映画(*写真頁)

浪花の恋の物語(東映)／暴力への回答(ポー

ランド国立映画)

(22)

記録映画作家の戦後体験?

RHAPSODIA STUPIDA——戦

後意識にかえて 八木 仁平 23~25

或る三十代の歴史——戦中派としての発言

楠木 徳男 25~27

東独記録映画「アンネの日記」

「月の輪古墳」から考えること 杉山 正美 28~30

記録映画を見る会九月例会案内

世界の記録映画作家研究 31

ドキュメンタリイはどこへ行く?——『ドキュ

メンタリー映画論』4

ポール・ローサ、シンクレア・ロード (共著)

／厚木たか (訳)

32
35

作品評

「ネンネコおんぶ」 常識的な社会改良主義

杉原 せつ 35

子役の精神「怪傑黒頭巾・爆発篇」について

佐々木 守 36
37

現場通信 サービス精神の方法——「海壁」を

支えるもの 黒木 和雄 37

プロダクション・ニュース 大沼 38

編集後記 大沼 38

第二巻第一〇号 一九五九(昭和三四)年一〇月一日

写真 「安保条約」(安保映画制作委員会) 表紙

時評 映画運動の発展のために 3

戦後体験とドキュメンタリーの方法

針生 一郎 4
6

特集 映画運動の展望

記録映画制作協議会運動の周辺 河野 哲二 7
10

挫折・空白・胎動(そのI)——記録映画制

作協議会以後 野田 真吉 10
12

学生の映画制作運動について 神原 照夫

12
13
36

移動映写隊から反マス・コミの闘いへ

中村 利一 14
16

映画運動・九州

映画サークルの問題点——集団批評の肥沃な

土壌に 高倉 光夫 23
26

観客運動としての「戦艦ポチヨムキン」上映

運動 山田 和夫 26
29

新作映画紹介(*写真頁)

なかよし港(東映)／水族館(日本視覚教材)

／王様になった狐(人形映画製作所・電通映

画社・教配)／幼児のまね(富士映画)／谷

間の母子(新理研映画)／婦人会日記(共同

映画)／たくましき母親たち(桜映画社)／

しろあり(社会教育映画社)／希望の国ブラ

ジル(光・報道工芸)／エチケット(三木映

画) / 伸びゆく力 (全農映) / いとこ同士
(*フランス) / 最後の戦線 (*ドイツ) /
人間の壁 (山本プロ)

(19) / (22)

プロキノの映画を見る——記録映画研究会十月

例会

29

シナリオ 安保条約(二巻) 松本俊夫 / 関根弘

30 / 35

前号・Jイヴェンス研究ノート補訂 大島

37

五九年度教育映画祭近づく

37

プロダクションニュース

38

『記録映画』バックナンバーあります

38

編集後記

松本

38

第二巻第一号 一九五九(昭和三四)年二月二日

写真 「実験動物マウス」(東京シネマ)

表紙

時評 教育映画祭をふりかえって

3

特集1 映画運動一九五九

新しい映画運動への一つの提言——「荷車の

歌」の教訓から

瓜生 忠夫

4 / 5

京都記録映画を見る会の今日

小野 善雄

6 / 8

東京映愛連は模索する

永岡 秀子 8 / 11

挫折・空白・胎動(その二)——記録映画製

作協議会以後

野田 真吉 11 / 13

記録映画を見る会十一月例会

13

連載座談会 プロキノ運動の再検討第一回——

その沿革史的展望

岩崎昶 / 並木普作 / 能登節雄 / 吉見泰 / 野田

真吉 / 大島正明

14 / 18

新作映画紹介(写真頁)

石油の国クウエイト(マツオカ・プロ) / 二

枚の絵(東映) / すりばち学校(渡辺プロ)

／伸びゆく只見川(新瀉映画社) / 世界の河

は一つの歌をうたう(世界労連) / にあんちゃ

ん(日活) / 人間の条件(松竹) / 野火(大

映)

(19)・(22)

1959年度教育映画祭入選作品から(写真頁)

ある主婦たちの記録(東映) / ポロンギター

(学研) / あさりの観察(学研) / こねこの

スタジオ(東映) / 六人姉妹(東映) / ぼく

は走らない(共同映画社) / 新しい製鉄所

(岩波映画)

国際短篇映画祭のなかから (写真頁)

(20) ~ (21)

プロダクション・ニュース

38

第二巻第一二号 一九五九(昭和三四)年二月一日

スイスのバロック芸術 (ドキュメンター・フィルム) / とんぼ (ポーランド) / わたしの家 (ザブレブ・フィルム) / 鉄のリズム (イギリス)

写真 「マリリン・スノー」 (日大芸術学部映画研究会)

特集2

(21)

研究会)

表紙

「安保条約」を批判する

時評 月の裏側に何をみたか

3

観客を忘れた表現方法

川本 博康

23 ~ 24

被害者意識のパターン

榎木 恭介

4 ~ 5

プロパガンダ映画の真の黎明

長野 千秋

24 ~ 25

特集 現代の方法を探究する

無理難題と道化

玉井 五一

25 ~ 26

人間と胃袋のためのプログラム——P・R映画とドキュメンタリー方法論の問題

創造と組織の一元化を訴える

大島 辰雄

26 ~ 28

松川八洲雄

6 ~ 9

高見からの一方交通

河野 哲二

29 ~ 30

作家の政治意識について

朝倉 撰

30 ~ 31

児童劇映画論

岩佐 氏寿

9 ~ 10

映画運動の曲り角

吉見 泰

31 ~ 32

殺人の方法

西江 孝之

11 ~ 14

生活の中の危機意識——「生まれくる者のため

オキナワ(1) 見たまま感じたまま

に」評

苗田 康夫

33

間宮 則夫

14 ~ 15

予断と偏見——佐野検事の論告に対し東映児童

作家の主体と戦争戦後責任について——松本俊

劇を弁護する

栗山 富郎

34 ~ 35

夫の毒舌に答える

丸山 章治

16 ~ 18

Xマン撮影顛末記——あるニュース映画の蔭の

第二回安保批判講演と映画の夕べ

物語

大峰 晴

36 ~ 37

新作紹介 (写真頁)

18

失業（総評・製作委員会）／ヒロシマの声 （日本ドキュメントフィルム）／燃えろ聖火 （日映新社）／日本一の米づくりグループ （濃文協）／記憶と学習（科学映画社）／葉 の形とはたらき（日本視覚教材）／暮しと家 具（日映科学）／力をとくするしくみ（芸術 映画社）／結核菌と化学薬剤（東京シネマ） ／鳩杖（東映）／火山の驚異（仏U・G・C） ／少年猿飛佐助（東映）／愛と希望の街（松 竹）				
連載座談会 プロキノ運動の再検討第二回―― その評価と継承の問題				
岩崎昶／並木晋作／能登節雄／長野千秋／大 島正明／山岸一章／吉見泰／野田真吉			23	26
教育映画祭の底にあるもの 「ある主婦たちの記録」について				
前向きへの期待	矢部 正男	27	28	
国際短篇映画祭批判	花谷 晃至	28	29	
記録映画を見る会十二月例会／世界の子供たち	渡辺 正己	29	30	

特集映画会				
ドキュメンタリーはどこへ行く4――『ドキュ メンタリー映画論』 ポール・ローサ、シンクレア・ロード（共著） ／厚木たか（訳）			31	33・30
作品評 エキゾチックな興味に焦点――「黄色 い大地」				
現場通信				
シカの顔について	岩佐 氏寿	35	36	
コヤシに恨みは……	西田真佐雄	36	37	
猿まわされの記録	山口 淳子	37		
プロダクションニュース				
編集後記	野 田	38		
第三巻第一号 一九六〇（昭和三五）年一月一日				
写真 「Nの記録」（日大芸術学部映画研究会）				表紙
時評 新年にあたって				3
このごろの映画論と記録映画	岩崎 昶	4	5	
記録映画を見る会一月例会				5

作家の発言

社会教育映画というもの 岩堀喜久男 6～9

作りての少ない映画——「失業」後記 京極 高英 9～11

作家と現実のズレの中に——創作への条件3 吉見 泰 11～12

モンタージュの前衛——方法論への試み 康 浩郎 12～14

現場でみつめる

オキナワ2 見たまま感じたまま 間宮 則夫 15～16

「月の輪古墳」から考えること2 杉山 正美 16～17

ジューク・ボックス (*投稿欄)

新作紹介 (写真頁)

刈千切唄 (記録映画社) / 相模川 (神奈川ニュー

ス映画協会) / ありとはと (学研映画部) /

小鹿物語 (東映教育映画部) / 谷間の母子

(日映新社) / 海を渡る鉄道 (文化映画研究

所) / 300トントレーラー (運輸新聞映画

部・産経映画技術研究所) / 雪国のくらし

(東映教育映画部) / 行司 (岩波映画製作所)

／渚にて (ユナイテッド・アーチスツ) / ロ

ベレ将軍 (イタリー・フィルム社) (19)～(22)

第4回全日本学生映画祭から (写真頁)

Nの記録 (日本大学芸術部映画研) / ひとりぼっ

ち (東北学院大学映画研) / 木立の影 (学習院

大学映画研) (22)

座談会 映画における記録性

村山新治 / 大島渚 / 岩佐氏寿 / 野田真吉 / 松

本俊夫 23～27

平衡感覚の破壊 粕 三平 28～29

「エラブの海」潜水記 西尾 善介 30～32

『カリガリからヒットラーまで——ドイツ映画

の心理的歴史』 1

ジীগフリード・クラカウア / 二木宏二 (訳) 32～34

作品評

わたしの声——映画「ヒロシマの声」をみて

西江 孝之 35～37

ど肝を抜かれて笑ってしまう科学映画——

「火山の驚異」

吉見 泰

教育映画作家協会第六回総会開かる——60年活

36

現場通信 初めから帰路

加藤 公彦

動方針と役員の改選

37

第三巻第二号 一九六〇(昭和三五)年二月一日

ジューク・ボックス(*投稿欄)

18

写真 「13階段への道」(西独コンチネント・

表紙

新作紹介(*写真頁)

フィルム)

表紙

眼が欲しい(都映画社) / 秘境ヒマラヤ(読

時評 「黄金」の年の序曲

3

売映画社) / 渡り鳥の生活(新世界プロ) /

危険の報酬

中原 佑介

4 / 5

たのしい合奏(モーシヨン・タイムズ) / 越

芸術的サゾ・マゾヒストの意識——もしくは創

3

後平野の米作り3・秋のしごと(日経映画社)

作の内的過程と芸術的効果性について

松本 俊夫

6 / 9

／結婚の条件(日経映画社) / 海の恋人たち

特集 記録映画の今日的課題「失業・炭鉱合理

6 / 9

(桜映画社) / 青空童子(日大芸術学部映画

化との闘い」

6 / 9

学科) / 脱走兵(ポーランド国立映画製作所)

作家の姿勢と根性

八幡 省三

10 / 11

／13階段への道(西独コンチネント・フィル

浪花節的世界からの脱却

池田 龍雄

11 / 12

ム) / オリーブに生きる人々(伊アルド・ゴ

自然主義リアリズムの限界

谷川 義雄

12 / 13

ディ・リオネット・ファップリイ・プロダク

感動の中の二・三の疑問

菅家 陳彦

13 / 14

ション)

一般的状況と作家の主体

且原 純夫

14 / 15

現実変革のヴィジョンを——第四回国民文化全

オキナワ3 見たまま感じたまま

間宮 則夫

16 / 17

国集会の報告

23 / 26

作家と観客を結ぶ記録・教育映画ガイド

23 / 26

記録映画を見る会二月例会 / ルイス・ブニユ

23 / 26

エルの名作「忘れられた人々」上映 / 労働組

23 / 26

合視聴覚研究全国集会伊東市で開催

『カリガリからヒットラーまで——ドイツ映画

の心理的歴史』 2

ジীগフリード・クラカウア／二木宏二(訳)

新刊書紹介

シナリオ 失業——炭鉱合理化との闘い

徳永瑞夫／京極高英

作品評 楽しいPRのために——「暮しと家具」

高倉 光夫

現場通信 野鳥を追って

プロダクション・ニュース

編集後記

第三巻第三号 一九六〇(昭和三五)年三月一日

写真 「沼辺の小さな生物」(東映)

時評 「労働組合視聴覚全国集会」の成果をふ

かめよう。

総合主義芸術論——ダンスからテレビまで1

柁木 恭介

現実と戦後体験の二重像

作家と読者を結ぶ記録・教育映画ガイド

記録映画を見る会三月例会／西武記録映画を

見る会三月例会／京都記録映画を見る会三月

例会／安保条約反対と黒い羽根運動のために

／本誌創刊二周年記念特別映画会予告／近代

美術館フィルムライブラリーの予定／自主上

映春の映画会

特集 社会教育映画

当面の諸問題

作家の思想性

横たわる「壁」

自戒から明日へ

記録映画バックナンバー在庫分

ジューク・ボックス(*投稿欄)

新作紹介(写真頁)

沖繩(日経映画社)／三つの家計簿(日経映

画社)／横河電気(記録映画社)／さよ達の

願い(自然科学映画社)／ホセイ・トレス

(草月アートセンター)／いのちの詩(電通)

長野 千秋 6~8

27

28~29

29

30~36

36~37

37~38

38

38

38

38

38

9

10~13

13~15

15~16

16~17

17

18

15

16

17

16

17

17

18

18

18

18

18

18

18

／オランウータンの知恵（日本映画新社）／ 大いなる旅路（東映）／両面の鏡（フランコ・ ロンドン・フィルム・チエイ・インコム共回） ／白い荒野（ウオルト・ディズニー）／白鳥 の湖（ソ連中央記録映画撮影所）		(19) 3 (22)
連載座談会 3 プロキノ運動の再検討		
北川鉄夫／古川良範／山田三吉／小森静男／ 粕三平／岩崎昶／長野千秋／野田真吉		23 3 28
プロキノ運動年表		29 3 30
現実・作家ドキュメンタリー——戦後記録映画 をめぐって	西本 祥子	31 3 33
『カリガリからヒットラーまで——ドイツ映画 の心理的歴史』 3		
ジীগフリード・クラカウア／二木宏二（訳）		34 3 37
プロダクション・ニュース		38
次号予告		38
編集後記	N	38

第三巻第四号 一九六〇（昭和三五）年四月一日

写真 「白い崖」（東映）		表紙
時評 内濠もうづめられるか		3
構成体論——フォルマーツィヤに関する私見	長谷川龍生	4 3 5
特集 モンタージュの再検討		
モンタージュ論は死なない——エイゼンシュ ティンの遺産について	山田 和夫	6 3 9
“状況”の下で寝ていられない	神田 貞三	9 3 11
モンタージュについてその覚え書		
ワン・ショットとモンタージュ	樺島 清一	12 3 14
読者への通信	羽仁 進	14 3 16
作家と読者を結ぶ記録・教育映画ガイド		16
世界の実験映画を見る会／西武記録映画を見 る会四月例会／映画サークル優秀映画会おし らせ／春の産業文化映画祭		17
じゅーくぼっくす（*投稿欄）		18

新作紹介 (*写真頁)

白い長い線の記憶 (日本映画新社) / 液体のはたらき (三木映画社) / いなかねずみとまちなねずみ (学研映画部) / 息子の日記 (東映教育映画部) / 描きつづけた三歳の生涯 (文化映画研究所) / 稲の「密植」 (芸術映画社) / ランプおじいさん (日写映画社) / たのしい手芸 (文化映画研究所新東映画社) / 明日を耕す (記録映画社) / 蝶々はここに住まない (チェコスロバキア映画) / 竹 (ポーランド国立記録映画撮影所・ヴェトナム文化部映画局) / 春香伝 (朝鮮民主主義人民共和国国立芸術映画撮影所) / 勝手にしやがれ (*フランス) / 白い崖 (東映) / 秘密 (東映)	(19) / (22)
連載座談会 4 プロキノ運動の再検討	
粕三平 / 北川鉄夫 / 岩崎昶 / 小森静男 / 山田三吉 / 古川良範 / 長野千秋 / 野田真吉	23 / 28
スポンサー教育序説 — PR映画論	
大島 正明	29 / 31
汎犯人的殺人事件 — 記録映画論	渡辺 正己
	31 / 33

『カリガリからヒットラーまで — ドイツ映画の心理的歴史』 4

ジューグフリード・クラカウア / 二木宏二 (訳) 34 / 35

作家と労働組合 — 労視研大会の感想断片

八幡 省三 36

現場通信 越後平野の農村 — 荻島部落

前田 庸言 37

教育映画作家協会研究会ニュース

会員の仕事 38

次号予告 38

編集後記 吉見 泰 38

第三巻第五号 一九六〇 (昭和三五) 年五月一日

写真 「人間みな兄弟」 (日本ドキュメンタリー・フィルム社)

表紙

時評 フィルム・ライブラリーを作家の手で 3

特集 1 映画と教育

視聴覚メディアの機能と論理 稲葉三千男 4 / 6

政治・芸術・人間 — 労働組合の映画運動に

座談会 教育者の眼と作家の眼	吉見 泰	6	8
加納竜一／西本祥子／石田修／岩堀喜久男 ／荒井英郎／吉見泰		9	14
作家と読者を結ぶ記録・教育映画ガイド			
西武記録映画を見る会五月例会／国民文化会 議映画部会研究会／記録映画を見る会五月例 会／日越友好親善記録映画の夕／都民劇場文 化映画の会／法政大学映画教室の知らせ		15	
『カリガリからヒットラーまで——ドイツ映画 の心理的歴史』5			
ジীগフリード・クラカウア／二木宏二(訳)		16	17
北京だより	京極 高英	17	
じゆうく・ぼつくす (*投稿欄)		18	
新作紹介 (*写真頁)			
大阪繁盛記 (日経映画社)／印画紙の話 (日 映科学)／エラブの海 (日映新社)／お父さ んは働いている (三木映画社)／若いやつ (記録映画社)／スランプ・仕事の調子 (日 映科学)／三人兄弟とその母 (東映教育映画			
部)／乳牛のしつけ (農山漁村文化協会)／ 人間みな兄弟・部落差別の記録 (日本ドキュ メントフィルム・芸術映画社・松本プロダク ション)／ぼくはおそばやさん (しばたプロ ダクション)／かあちゃんはぼくらの太陽 (東映教育映画部)			(19)
特集2 作家の発言			(22)
心配すると猫も死ぬ	大沼 鉄郎	23	26
作家の衰弱——私の記録映画論	大島 渚	26	28
俗流漫画擁護論批判——現代児童漫画私論1	佐野美津男	29	31
教育映画作家協会研究会ニュース		31	
バックナンバー在庫分		31	
作品評 美術映画への註文状——「天平美術」	平田 清耕	32	
高島一男追悼頁			
高島一男に／想い出／君は去った			
松本俊夫／西田真佐雄／野田真吉		33	34
遺稿・作品評 脱し切れなかった物語性の桎			
梶——「黒い画集」	高島 一男	34	35

現場通信

「若いやつ」 漁村の青年たち 秦 康夫

アフリカからの手紙 岩佐 氏寿

読者からの手紙 グルッペ・キネマ・アルファ

を結成して 榎本 利男

会員の仕事 榎本 利男

編集後記 榎本 利男

次回予告 創刊二周年記念 榎本 利男

第三巻第六号へ創刊二周年記念号へ

一九六〇（昭和三五）年六月一日

写真 「太陽がいっぱい」（仏伊合作） 表紙

時評 あたりまえでないことがあたりまえになっ

てはいけない 3

特集 創造的想像力

モノいう壁——PR映画と想像力 玉井 五一 4～5

前衛映画の系譜と今日——フランスを中心に 大島 辰雄 6～9

ドキュメンタリー映画の系譜——一九二〇年

から第二次世界大戦まで 厚木 たか 10～12

隠された世界の記録——ドキュメンタリーに

おける思想力の問題について 松本 俊夫 12～17

「もの」への挑戦 吉田 喜重 17～18

児童漫画的想像力——現代児童漫画私論？

佐野美津男 23～25

映画音楽の実験性 湯浅 譲二 25～28

実験映画論ノート——あるいは映画的イマー

ジュの回復のために 野田 真吉 29～32

座談会 ドキュメンタリーとは何か1

佐々木基一／関根弘／榎木恭介／武井昭夫／

野田真吉／松本俊夫 33～37

読者への通信 二周年記念懇談会への招待 9

新作紹介（写真頁）

農業共同化のあゆみ（社会教育映画社）／マ

リン・スノー（東京シネマ）／まこと君のひ

けめ（東映教育映画部）／たのしい共同製作

（科学映画社）／末っ子大将（新日本プロダ

クション）／ひろがりゆくオートメーション

(記録映画社) / プレミアムマラソン (理研)

科学映画) / 機械文明の騎士たち (日経映画

社) / 親鸞 (東映) / 青春残酷物語 (松竹) (19) ~ (22)

西武記録映画を見る会六月例会 / 『記録映画』

綴り込みファイル完成 28

編集後記 野 37

誤植訂正 37

第三巻第七号 一九六〇(昭和三五)年七月一日

写真 安保反対を闘う三井の炭鉱労働者 (国際

報道写真展) 表紙

声明 安保体制打破の闘いの新しい段階にあたって

教育映画作家協会運営委員会 3

芸術の未来像 記録芸術・言語と映像のストラッグ

安部公房 / 野田真吉 4 ~ 7

特集 映画表現の技術

映画における〈視線〉の問題——視野角度焦

点深度が意味するもの 岡田 晋 8 ~ 10

時間表現の技術——映画の「時間」について

映画技術と実験映画

大衆批評のなかの技術

私の記録映画論——ZOOと記録の関係

矢部 正男 10 ~ 12
勅使河原宏 12 ~ 14
木崎敬一郎 14 ~ 16
山際 永三 16 ~ 18

(*写真頁)

歩みはおそくとも (全国農村映画協会) / ア

イントロップの利用 (新理研映画) / 神戸ッ子

(三井芸術プロ) / DOCK No. 3 (日映科

学) / 北陸トンネル (新理研映画) / おしげ

さん (春秋映画) / 花のジプシー (日映科学)

／横山大観 (新理研映画) / ガラスの目玉

(近代映画協会) / 日本の子どもたち (長崎

県教組・新世紀映画・共同映画社) / 生産と

学習 (共同映画社) / 黒いオルフェ (仏デイ

スパ・フィルム) / サンポ (ソ連・フィンラ

ンド合作) / 真夏の夜の夢 (チェコスロバキ

ア)

座談会 ドキュメンタリーとは何か?

武井昭夫 / 関根弘 / 佐々木基一 / 榎木恭介 /

(19) ~ (22)

野田真吉／松本俊夫

23
～
29

『カリガリからヒットラーまで——ドイツ映画の心理的歴史』6

ジューグフリード・クラカウア／各務宏（訳）

30
～
32

ルポタージュ 6・15深夜国会正門前

苗田 康夫 33・38

作品評

「人間みな兄弟」 断片的な作家の眼

藤原 智子 34
～
35

「オランウータンの知恵」 ペットをみつめる優越感

永岡 秀子 36

書評 新しさのパターン——羽仁進著『カメラとマイク』

松尾 一郎 35

現場通信 中国便り

京極 高英 37
～
38

誤植訂正 38

西武記録映画を見る会ガイド 38

編集後記 野田 38

第三卷第八号 一九六〇（昭和三五）年八月一日

写真 ピカソの陶皿

表紙

時評 膨大なエネルギーを空転させないために

——その発展と前進のために 3

特集 批評精神の再組織

批評について——映画批評家とは何か 3

佐藤 忠男 4
～
5

映画批評への不信と期待 高瀬 昭治 5
～
7・38

作家と批評精神——タタミの上の水練でなく 丸山 章治 8
～
9

記録・教育映画の現状打解のために

社会教育映画と階層——壁を破るために 永島 利明 10
～
12

プロキノ——その意義と教訓 富士田元彦 12
～
15

映像試論——映像とは何か 西村 政明 16
～
17

ショット論——映像研究のために 米長 寿 17
～
18

夏の産業文化映画祭のお知らせ／「一九六〇年

六月・安保への怒り」完成!

18

(*写真頁)

1960年6月・安保への怒り(安保反対映画製作委員会) / 日本の舞踊(岩波映画) /

マスコミと私たちの生活(文化映画研究所・新東映画社) / 世紀のデリック(新映画実業)

／細胞の観察(東映教育映画部) / 荷役はわかる(運輸新聞映画部) / 鉄に生きる(三井

芸術プロ) / 伸びゆく鋼管(岩波映画) / 君たちはどう生きるか(東映教育映画部) / 資

本の世界(日映科学) / 美しいネオンとみりの蔭に(新理研映画) / 真夏の夜のジャズ

(米レーヴン・プロ) / 西遊記(東映動画部) 『カリガリからヒットラーまで——ドイツ映画

(19) / (22)

の心理的歴史』 7

ジークフリード・クラカウア / 各務宏(訳)

23 / 26

欲望のイメージ

松川八洲雄

26 / 27

認識と表現のはざま——ある敗北のノート

粕 三平

28 / 33

作品評

「三池のたたかい」 作家は内部と外部の敵

を撃て 大沼 鉄郎 34

「エラブの海」 六月斗争の中で考える

山之内重己 35

書評 ルドルフ・アルンハイム、志賀信夫訳

『芸術としての映画』 大島 辰雄 36

現場通信 燃え上ったエネルギーの中から

杉山 正美 36 / 38

記録・教育映画ガイド 西武記録映画を見る会

編集後記 野 38

第三巻第九号 一九六〇(昭和三五)年九月一日

写真 「喜びのチベット」(中国記録映画) 表紙

時評 「政治参加と作家」についての議論をふ

かめよう——安保反対闘争の総括とともに

黄色いタンカ——事実を見る眼 関根 弘 4 / 5

特集 現代のマスコミ

テレビ・ドキュメンタリーとは何か

吉田 直哉 6 / 8

ラジオドキュメンタリーへの接近

橋本 洋二 8 / 10

テレビ・ドキュメンタリーの現状

水野 肇 10 / 13

新聞における今日

曾木 耕一 13 / 16

即時性は野次馬も育てる——テレビ・ラジオ

加瀬 昌男 16 / 18

批判

第二回世界の実験映画を見る会のお知らせ

(*写真頁)

光を(新世界プロ) / 海に築く製鉄所(岩波

映画) / ベニスの商人(東京中央人形劇場)

／室町時代の文化(記録映画配給社・記録映

画社) / グループとリーダー(科学映画社)

／わが家に二男三女あり(東映教育映画部)

／婚約宣言(奥商会) / 黙ってはいけな

い(三木映画社) / 小さな町の小さな物語

(記録映画社) / 脳のはたらきと脳波(新世

界プロ) / 弾丸大将(東映) / チャップリン

の独裁者

「生きる」ことからの出発——私の記録映画論

(19) / (22)

恩地日出夫 23 / 25

闘いの座標と論理——「青春残酷物語」「ろく

でなし」「青い野獣」 有井 基 25 / 28

政治的前衛にドキュメンタリストの眼を——

1960年6月の指導部の思想をめぐって

松本 俊夫 28 / 30・33

『カリガリからヒットラーまで——ドイツ映画

の心理的歴史』 8

ジューグフリード・クラカウア / 各務宏(訳) 31 / 33

小特集 ここにある六月

ある敗北 浅野 勲 34 / 35

私の中の大衆 平野 克己 35 / 36

意志の行動 宮崎 明子 36 / 37

デモの中から 西田真佐雄 37

ある敗北論者の告白 清水 幸子 38

ガイド

録映画を見る会九月例会 / 西武記録映画を見

る会九月例会 / 本誌合本ファイルを買いました

う 野 38 38

編集後記

第三卷第一〇号 一九六〇(昭和三五)年一〇月一日

写真 エチオピアの子どもたち (「世界の地理
と風俗シリーズ」東映教育映画部) 表紙

時評 ふたたび政治と作家活動と——あと戻り
するな 3

特集 現代の疎外と作家

全機内臓・大衆価格——誰の手にも入ります
和田 勉 4 5

インサイダードキュメンタリー論

田原 茂行 6 9

その根をとりのぞけ——1960年6月製作

運動について 野田 真吉 10 13

檻の中の狐 長野 千秋 14 16

お化け映画・その他——私の記録映画論

中川 信夫 16 17

作品評 「日本の舞踊」 森谷 巖 18

新作紹介 (写真頁)

三池・働くものの心はひとつ (三池現地指導

委員会) / あなたは見られている (日経映画

社) / 海を渡る友情 (東映教育映画部) / 露

路裏の灯 (東映教育映画部) / ゴキブリ (読

売映画社) / 新聞に出た娘 (日経映画社) /

青果市場 (農山漁村文化協会) / モスクワの

旅 (理研科学映画) / 自然のしくみ (桜映画

社) / 記録に挑むスポーツの科学 (桜映画社)

/ シリコーン (日経映画社) / マッキンレー

征服 (東映) / 武器なき闘い (大東映画・

「山宣」映画化実行委員会) / 顔のない目

(*フランス・イタリア)

座談会 中国とアフリカで何を見たか——中国・

アフリカ・日本の六月

特集 「一九六〇年六月」を批判する 京極高英 / 岩佐氏寿 / 富沢幸男 23 28

真実の記録 尾崎 宏次 29

忘れ得ぬ記録 菅家 陳彦 29 30

重層的把握の欠如 西本 祥子 30 31

三つの註文 荒井 浪速 31

高く評価しながらも 矢部 正男 32

(19) 5 (22)

映教育映画部) / 構成の練習 (新世界プロ)		
／大和の国のはじまり (記録映画社) / テレ		
ビは生きている (シナリオ文芸協会) / ミシ		
ン (新世界プロ) / 黒潮丸 (岩波映画) / 人		
間の運命 (ソ連・モスフィルム) / 誓いの休		
暇 (ソ連・モスフィルム) / 大いなる驀進		
(東映)	(19)	(22)
『カリガリからヒットラーまで——ドイツ映画		
の心理的歴史』 10		
ジークフリード・クラカウア / 各務宏 (訳)	34	37
作家と読者を結ぶ記録・教育映画ガイド		
記録映画を見る会十一月例会 / 西武記録映画		
を見る会11月例会 / 記録映画研究会 / 神戸映		
サ協十周年記念映画会 / 日ソ協会記録映画祭		
／法政大学大学祭映画会 / 明治大学大学祭映		
画会 / 日本大学芸術学部祭映画会	38	
次号予告	38	
編集後記	38	

第三巻第一二号 一九六〇(昭和三五)年二月一日

写真 「地獄舞台の突撃」(ユーゴスラビア)	表紙
時評 物価の値上りとギャランテイ	3
特集 映画における抵抗	
戦後映画の栄光と悲惨——「物語る」主体の	
破壊	吉田 喜重 4
	5
残酷をみつめる眼——芸術的否定行為におけ	
る主体の位置について	松本 俊夫 6
	10
安保ボケの風景——作家の現実意識	
	花松 正ト 10
	13
政治に徹するイメージ——映画運動の今日的	
課題を探る	浅井 栄一 14
	15
テレビと映画・その構造——テレビの中の抵	
抗(1)	高瀬 昭治 16
	17
美学よ去れ——私の記録映画論	石堂 淑朗 23
	25
商品と芸術の間——戦後映画の抵抗	
	神田 貞三 25
	26
顔面蒼白の騎士——P・R映画について	

岩佐 氏寿 27～29
泰平ムードを破るもの——教育映画・P・R

映画雑感 日高 昭 29～30

映画と子ども——道德教育映画というものを

めぐって 阿部 進 32～35

危機認識の視点——教育映画総合振興会議の

感想 八幡 省三 36～37

作家と読者を結ぶ記録・教育映画ガイド

京都記録映画を見る会12月例会／C・A・C

コンテンツポラリー・シアタ第一回／西武記録

映画を見る会12月例会／世界の名画を見る夕

べ／社会教育映画研究会／教育映画作家協会

第七回総会／自主上映映画会十二月例会／

「日本の夜と霧」再上映促進運動ひろまる／

都内四大学映画連盟松竹へ請願文を提出／東

京映愛連も再上映決議／再上映促進行動セン

ターを設置／「松川事件」劇映画撮影に入る

／三人のアニメーションの会／国立近代美術

館古典映画鑑賞会

18

(＊写真頁)

うぐいす笛をふく少年(東映教育映画部)／

なまはげ(東映教育映画部)／おじさんあり

がとう(民芸映画社)／浅沼暗殺(総評勤視

連)／土佐風土記(電通映画社)／沈む(日

大芸術学部映画科)／人体シリーズ(日映科

学)／たのしい科学シリーズ(岩波映画)／

裸の島(近代映画協会)／手をつないで(近

代映画協会)／若者のすべて(イタリア)／

秘境の裸族マンダラ(スイス)

一九六〇年本誌主要目次一覧

次号予告

編集後記

野田

38

37～38

(19)～(22)

第四巻第一号 一九六一(昭和三六)年一月一日

写真 「その鍵をはずせ！」(芸術映画社)

表紙

時評 新年を迎えて

3

前衛の条件を探る

絵画・イメージ・現実

池田 龍雄

4～7

マヤコフスキーの眼

松川八洲雄

7～10

偽証のレンズ	康浩郎	11	12
意味への挑戦Ⅱ	粕三平	12	14
否定の論理と否定の生理——私の記録映画論	田村孟	30	31
『カリガリからヒットラーまで——ドイツ映画の心理的歴史』	11		
ジークフリード・クラカウア／各務宏（訳）	15	17	
次号予告		17	
新作紹介（写真頁）			
北白川子ども風土記（共同映画社・松本プロ・京都歯車グループ）／海と陸をむすぶ（運輸新聞映画部）／神奈川は招く（神奈川ニュース映画協会）／ふきんの科学（東映教育映画部）／伊勢志摩への招待（岩波映画）／日本の合成ゴム（日映科学映画）／その鍵をはずせ（芸術映画社）／ディーゼル特急（岩波映画）／駐在さん一家（東映教育映画部）／地下鉄のザジ（フランス）／人間の条件（文芸プロダクション・にんじんくらぶ・松竹映画）		(19)	(22)
座談会 映画運動を模索する——観客運動と製			

作運動の接点を求めて			
高倉光夫／山之内重己／野田真吉／桑島達／岩佐氏寿／徳永瑞夫／浅井栄一／坂斉小一郎／大島辰雄		23	29
映画月評第一回 丘をのぼるイメージ——国会のてっぺんに赤旗を	佐野美津男	32	33
記録・教育映画ガイド			
記録映画研究会一月例会／西武記録映画を見る会一月例会／高知自主上映の貝一月例会／国立近代美術館一月上映予定／都民劇場映画サークル・文化映画シリーズ／国民文化会議全国集会／「日本の夜と霧」再上映促進で大			
学映画声明文発表／東京自主上映促進会一月例会／特別試写会			35
自分の作品をこの書に照らし見よ——『ドキュメンタリー映画』の書評によせて	吉見泰	36	38
編集後記	岩佐	38	

第四卷第二号 一九六一（昭和三五）年二月一日

『カリガリからヒットラーまで——ドイツ映画

の心理的歴史』 12

ジューグフリード・クラカウア／各務宏（訳） 23

記録映画作家協会と改称——第七回総会報告 27

教育映画はなぜ陽の目を見ないか 吉村 徳蔵 28

映画月評第二回 汝、如何に生くべきか——バ 29

ンザイ！ 新東宝 佐野美津男 30

アニメーション映画シナリオ ゲジゲジ 31

読者と作家を結ぶ記録・劇映画ガイド 関根弘／真鍋博 32

一九六一年労働組合視聴覚研究全国集会／映 37

画観客団体全国会議／日本映画復興会議／西

武記録映画を見る会二月例会／実験・前衛・

マンガ大会／東京映愛連ミリオンのパール賞

一九六〇年度ベスト・テン決定／都下大学映

画連盟ベスト・テン

次号予告 38

編集後記 38

野田 38

写真 「ゲジゲジ」 表紙

時評 「記録映画作家協会」と改称して 3

動画・ドキュメンタリスト 榎木 恭介 4

政治的前衛と芸術的前衛 竹内 実 6

ホグベン氏とわたし——映画の映像とテレビの 6

映像 藤久 真彦 9

記録映画「西陣」クラック・イン近し 11

テレビドキュメンタリー・一九六一 牛山 純一 12

特集 シナリオ論 13

記録映画のシナリオの方法——そのヴァイタ

リティについて 吉見 泰 14

現代の証人——シナリオと現実の間 17

長野 千秋 17

現実否定のイメージ——ベールの下のドラマ 19

あるいは非ユークリッド的シナリオ論序章

野田 真吉 20

22

第四卷第三号 一九六一（昭和三六）年三月一日

写真 「1・052」（早大シナリオ研） 表紙

時評 第2回労視研の課題を深め発展させよう 3

特集 現代モダニズム批判

呪われて死ね！——芸術の前衛とモダニズム

関根 弘 4 5 6

芸術運動とモダニズム 大島 渚 7 5 9

笑いのモダニズム 定村 忠士 10 5 11

レッキとしたオンリーたちへ——現代モダニ

ズム白書 その1 福島 辰夫 12 5 14

モダニズムとクリティック 松本 俊夫 15 5 17

ドキュメンタリー一般か今日のドキュメンタリー

か——佐々木基一氏への手紙 その一

石堂 淑朗 18 5 20

テレビ・ドラマの方法 内田 栄一 20 5 22

作品評 内部批判者の眼——「ローマの仮橋」

日下野叔子 23 5 24

書評

大島渚作品集『日本の夜と霧』 長野 千秋 24

武井昭夫著『芸術運動の未来像』野田 真吉 25

現代の子どもをえがけ——教育映画・児童劇映

画への提言 阿部 進 26 5 29

DUMP——映画「一・〇五二」製作レポート

早稲田大学稲門シナリオ研究会 29 5 31

アンケート

諏訪淳／宮崎明子／久保田義久／諸橋一／赤

佐政治／長野千秋／藤原智子／谷川義雄／持

田裕生／豊田敬太／三上章／楠木徳男／山元

敏之／杉山正美／康浩郎／岡本昌雄／松本俊

夫／諸岡青人／安倍成男／野田真吉／間宮則

夫／大島辰雄／飯村隆彦／岩崎太郎／島谷陽

一郎／大野孝悦／丸山章治／黒木和雄／近藤

才司／松川八洲雄／飯田勢一郎／石田巖／京

極高英／小谷田巨／浅野辰雄／平野克己 32 5 33

座談会 映画運動1961

佐々木守／佐藤忠男／野田真吉／山形雄策 34 5 41

ドキュメンタリー通信

ドキュメンタリー理論研究会／実験・前衛・

マンガ大会／西武記録映画を見る会三月例会
 ／記録映画を見る会三月例会／第十二回文化
 映画の会／記録映画「西陣」製作カンパを／
 神戸映サ第一回映画講座／記録映画研究会三
 月例会
 編集後記

野田	42
野田	42

第四卷第四号 一九六一（昭和三十六）年四月一日

写真 「処女の泉」（スウェーデン） 表紙

時評 言論・表現の自由とテロリズムについて 3
 特集 日常性とその破壊の論理

わたし大好き 透明な人 わたし大好き……

和田 勉 4 5

日常性の顔 玉井 五一 6 8

レッキとしたオンリーたちへ——現代モダニ

ズム白書2 福島 辰夫 9 11

日常喪失の動物学的現象について

東 陽一 12 14

ことばの生体と死体——「批評」における日

常性の破壊 石子 順造 14 17

読者の投稿を歓迎します

アンドレ・カイヤットへの手紙1 小川 徹 18 19

意識変革の論理——テレビ・ドキュメンタリー

「日本1960」を中心に 岡本 愛彦 20 22

自作をドキュメントする1 「ルポルタージュ・

炎」をめぐって 黒木 和雄 23 24

協作者からの発言1 それは誰のために作られ

るか——自主作品とPR映画の問題

田畑 正一 25 27

映画月評第三回 挑発者の論理——自ら放火し

なければ革命の火は燃えたため 佐野美津男 28 29

運動バカは今日も集まる——国民文化会議・映

愛連・労視連 長野 千秋 30 31

ドキュメンタリー理論研究会三月例会報告 31

連載講座ドキュメンタリー映画の作り方1 シ

ナリオ論（1） 吉見 泰 32 34

ドキュメンタリーからフィクションへ——若き

フランス映画の軌跡

アンドレ・S・ラバルト／大島辰雄（編訳） 35 39

短篇時評 「蜂の生活」	丸山 章治	40	新・国定忠治論	佐野美津男	8
劇映画時評 「松川事件」	山之内重己	41	芸術的前衛作家の条件	朝倉 撰	11
ドキュメンタリー通信			ウルトラデモクラットの陳述 その1		13
ドキュメンタリー理論研究会／世界実験マンガ映画大会／西武記録映画を見る会四月例会			リアリズムにおける偶然と必然	花松 正ト	14
／PR映画センター四月番組／国立近代美術館ライブラリー／京都記録映画を見る会四月例会			六月号予告 三周年記念号	藤原 智子	18
例会／記録映画「西陣」製作カンパと完成試写会のお祝い／記録映画研究会四月例会		42	アンドレ・カイヤットへの手紙？	小川 徹	20
編集後記	野田	42	自作をドキュメントする？ 記録映画「その鍵をはずせ——ある精神病院の記録」を演出して		23
			ラジオ・テレビの方法論4 マイクロドキュメンタリーの可能性	田中 徹	24
第四巻第五号 一九六一（昭和三六）年五月一日			アジア・アフリカ作家会議の横顔	渡辺 広士	26
写真 「顔役暁に死す」（東宝）			連載講座ドキュメンタリー映画の作り方？	厚木 たか	28
時評 人間衛星船とアイヒマン裁判		3	ナリオ論（2）	吉見 泰	30
特集 現代のリアリズム			新刊書紹介		32
無稽のスキャンダリスト・南北（1）			阿部進著『現代子ども気質』／福田和彦著		
			『映画とエロティシズム』		33
縮図論の崩壊	江藤 文夫	6	海外映画事情？（ソヴェト）	生きた人間への	
		8	愛情について		
	真鍋 呉夫	4			
		5			

チガ・ウェルトフ／土方敬太(訳) 34～37

短編映画時評 「人類の敵」 苗田 康夫 38

劇映画時評 解釈「処女の泉」——いささか独

断的な ドキュメンタリー通信 松川八洲雄 39

ドキュメンタリー通信

ドキュメンタリー理論研究会五月例会／第四

回毎日産業教育映画教室／PR映画センター

五月番組／都民劇場映画サークル定期観賞会

／新作教育映画試写会五月例会／自主上映五

月例会／京都記録映画を見る会四、五月例会

／西武記録映画を見る会五月例会／国立近代

美術館ライブラリー／チエコスロバキア建国

記念週間／長篇記録映画「汝多くの戦友たち」

全国自主上映プラン／記録映画「西陣」製作

カンパと完成試写会のお願ひ／記録映画研究

会五月例会／記録映画ライブラリー／世界を

激動させた記録映画大会・予告 40～41

理論研究会四月例会の報告 S 40～41

サロン 「西陣」の歴史／国際映画祭の話 42

編集後記 42

第四巻第六号 一九六一(昭和三六)年六月一日

写真 「西陣」 表紙

表紙装幀 栗津 潔 表紙

六月のことば

ポール・エリュアール／江原順、康敏星(訳) 3

特集 現代のエモーション

情念論の再建 中村雄二郎 4～5

スリルの社会的効用について——あるいは偽

強姦論 洪沢 龍彦 6～8

黒いしずかな笑い 池田 龍雄 9～11

驚き 山口 勝弘 12～15

憎悪 吉田 喜重 16～17

老人と胎児——恐怖の現代的な意味

寺山 修司 18～19

不安 松川八洲雄 20～22

痛み——無感覚と痛撃 西江 孝之 22～26

エロティシズム——現代的快樂主義者の相

田島 浩 27～29

読者の御意見御感想を募集します 編集部

七月号予告

芸術における今日的課題は何か——安保闘争後

一年を経過して

アンドレ・カイヤットへの手紙 3 小川 徹

自作をドキュメントする 3 撮影余談——犬と

寄生虫の話

新人シナリオ・エッセイ・コンクール作品募集

記録映画作家協会

連載講座ドキュメンタリー映画の作り方 3 演

出論(1)

短編映画時評 ナショナルのPR映画「電子の

技術」

劇映画時評 「日曜には埋葬しない」「日曜は

ダメよ」について

映画メモI・II

ドキュメンタリー通信

ドキュメンタリー理論研究会六月例会／社会

教育映画研究会六月番組／記録映画研究会六

月例会／西武記録映画を見る会六月例会／P

R映画センター六月番組／「汝、多くの戦友

たち」全国自主上映プラン／新作教育映画試

写会六月例会／自主上映六月例会／京都記録

映画を見る会六月例会／フランス回顧映画祭

／世界山岳映画の夕べ／記録映画ライブラリー

／一九六〇年度日本映画監督新人協会賞／劇

団新演 〃日本の夜と霧〃五幕六・一五記念公

演／「六・一五」一周年記念集会／作家個展

シリーズNo.1 〃野田真吉〃作品集

記録映画「西陣」完成試写会

世界を激動させた記録映画大会

ドキュメンタリー理論研究会五月例会報告

記録映画研究会五月例会報告

編集後記

第四巻第七号 一九六一(昭和三六)年七月一日

写真

表紙装幀

七月のことば

17

26

30
33

34
38

38
39

40

42
44

46

47

46
47

48
49

48

49

50

50

50

49

50

50

50

東松 照明 表紙

栗津 潔 表紙

J・P・サルトル 3

特集 ニュース映画とドキュメンタリー

ニュース映画とドキュメンタリー

佐々木基一 4～5

アックとドックは何処にいる?——ニュース

小笠原基生 6～8

映画の本質にふれて

山田 宗睦 9～11

いつわりの系統ニュース映画

テレビ・ニュースとドキュメンタリー映画

佐藤 昭 12～13

ニュース・記録性・現在姓——「変革のヴィ

ジョン」をめぐる 大島 辰雄 14～17

八月号予告

座談会 当世助監督気質——明後日の人たちは

語る

京極高英／飯村隆彦／清水幸子／佐々木守／

康浩郎 18～24

新人シナリオ・エッセイ コンクール作品募集

学生映画の姿勢——「0の視点」を製作して思

うこと考えること 青木 敏 25

敵の姿を知らせるな!——「西陣」が完成して

プロデューサーとのインタービュー

西陣のこと

浅井／田島浩 26～27

松田 道雄 27

自作をドキュメントする4 余り科学的でない

話——科学的技術映画「潤滑油」演出後記

竹内 信次 28～29

協作者の発言2 音楽の演出

武満 徹 30～31

今月のCM界の話題

島谷陽一郎 30～31

連載講座ドキュメンタリー映画の作り方4 演

出論(2) 西尾 善介 32～34

記録映画「西陣」の批評を募集します

編集部 34

海外映画事情3 記録映画の任務その他について

ヨリス・イヴェンス／久松公(訳) 35～37

短編映画時評 東映児童劇映画「津波っ子」

長野 千秋 38

劇映画時評 「熱風」を中心に 森谷 巖 39

アントラクトI・II 38～39

ドキュメンタリー通信

ドキュメンタリー理論研究会七月例会／記録

映画研究会七月例会／西武記録映画を見る会

七月例会／自主上映七月例会／新作教育映画
 試写会七月例会／劇映画「裸の島」上映促進
 会お知らせ／第二回モスクワ国際映画祭のお
 知らせ／記録映画ライブラリー／PR映画セ
 ンター七月番組／七月よい映画の試写会「山
 に挑む」／記録映画を見る会例会／作家個展
 シリーズNo.1野田真吉作品集／作家個展シリ
 ーズNo.2和田勉作品集／テレビ映画七月予定番
 組／詩人とショウの大結婚式
 ドキュメンタリー理論研究会報告 T 40
 第二回記録映画「西陣」特別試写会のお知らせ 41
 編集後記 42

第四巻第八号 一九六一（昭和三六）年八月一日

写真 東松 照明 表紙
 表紙装幀 栗津 潔 表紙
 八月のことば 空席 ジャン・タルデュウ 3
 画 池田 龍雄 3
 特集 私の方法論

映画における方法論 森本 和夫 4～7
 シナリオ作戦 白坂依志夫 7～9・17
 自分の「王」の近所 飯島 耕一 10～11
 あわてる乞食はもらいがすくないことについ
 て——ぼくの方法についてのノート

ドラマの亡霊 福田 善之 12～13
 石島 晴夫 14～17
 つなぎ目に生れるヴィジョン 京極 高英 18～19
 大沼 鉄郎 19～21
 いかに裏切るか

孤立している——『記録映画』6月号への意見

（投稿） 田畑 正 22～23

日本発見シリーズ・序 岩波映画と「日本発見」

——PRの会社でつくるテレビ・ドキュメン

タリ 吉原 順平 24～25

企業訪問1 全農映の巻 長野 千秋 26～27

今月のCM界の話題 日本のコマーション界の

地盤 島谷陽一郎 28

映画詩「西陣」の御感想をおよせ下さい

編集部 28

書評 疑いと否定の態度はどこに——講座『現

代芸術

高橋 秀昌

誌代値上についてのお願い

29

記録映画作家協会運営委員会／『記録映画』

編集委員会

29

海外映画事情4 (メキシコ)「アンダルシアの

犬」から「ナサリン」まで——ブニユエルの

永久反抗

エミリオ・ガルシア・リエラ／徳永瑞夫(訳)

30
34

ルイス・ブニユエル監督の全作品目録

30
34

ひとつの意見

ルイス・ブニユエル／徳永瑞夫(訳)

34

エッセイ 疑問

高林 陽一

35

フランス無声映画祭から 参加する観衆——フィ

ルム・ダバンギャルド

渡辺 正己

36
37

劇団民芸「火山灰地」公演に劇団活動は着々進

む！／劇団民芸公演久保栄記念

37

短編映画時評 「牛の病氣」「母と娘」他

岩堀喜久男

38

劇映画時評 映画に現れた戦争 山之内重己

39

ドキュメンタリー通信

ドキュメンタリー理論研究会八月例会／記録

映画研究会八月例会／全国視聴覚教育研究大

会／一九六一年教育映画祭参加要領決る／西

武記録映画を見る会八月例会／新作教育映画

試写会八月例会／日比谷図書館フィルムライ

ブラリー八月番組／PR映画センター八月番

組／記録映画ライブラリー／都民劇場映画サー

クル／各種映画祭入賞作品紹介／芸術関係単

行本の紹介と斡旋／作家個展シリーズNo.3羽

仁進作品集／記録映画「西陣」試写会／記録

映画「汝多くの戦友たち」八月上映決定のお

知らせ

40
41

新人シナリオ・エッセイ・コンクール作品募集

42

編集後記

42

次号予告

42

第四巻第九号 一九六一(昭和三六)年九月一日

写真

東松 照明

表紙

表紙装幀

栗津 潔

表紙

九月のことば 魯迅 3

特集 ドキュメンタリーの現代的視座Ⅰ——評論

疎外の記録 野田 真吉 4 〱 7

科学映画の周辺 渡辺 正己 7 〱 10

教育映画からドキュメンタリーへ 谷川 義雄 10 〱 11

研究会のお知らせ 編集部 10

特集 ドキュメンタリーの現代的視座Ⅱ——作

品「西陣」をめぐって

ドキュメンタリーを越える面白さ 岡田 晋 12 〱 13

不連続の衝撃——「西陣」にことよせて

思考を強いる「西陣」 吉見 泰 13 〱 15

批評家と作家のあいだ 野村 修 15

映画「西陣」見たまま雑考 小沢 敏夫 16

二つの触角の挫折 山下 菊二 17 〱 18

俺はおまえに火事場のまとい 篠原 央憲 18 〱 19

ももえあがる 河内 紀 19 〱 20

「西陣」の感想 石子 順造 20 〱 21

「西陣」への一つの提言 大島 辰雄 21

あなたはどこで「西陣」を知ったのか

草月シネマテーク第二回 読者の方々へ 編集部 21

縮図論の崩壊(2) 江藤 文夫 22 〱 24

次号予告 書評 23

多難ご難の世界——『視聴覚教育白書』 加藤松三郎 25

花田清輝、武井昭夫著『新劇評判記』

市川崑、和田夏十著『成城町271番地』 長野 千秋 36

『伊丹万作全集』 吉田 喜重 36

沖縄ルポルタージュ 守礼の門 丸山 章治 37

ドキュメンタリー理論研究会報告 堀 賢次 26 〱 29

海外映画事情4 (メキシコ)「アンダルシアの犬」から「ナサリン」まで——ブニユエルの

永久反抗 エミリオ・ガルシア・リエラ／徳永瑞夫(訳) 30 〱 34

ルイス・ブニエール監督全作品目録 追加と

訂正

アントラクト

34

短編映画時評 16mm新作試写会から

写真

東松 照明 表紙

秦 康夫

表紙装幀

栗津 潔 表紙

劇映画時評 「狂った年輪」

間宮 則夫

38

10月のことば

ランボオ 3

ドキュメンタリー通信

特集 映画と思想

ドキュメンタリー理論研究会九月例会／記録

きんちゃくときんちゃく切り

花田 清輝 4～6

映画研究会九月例会／一九六一年教育映画祭

どうしたらキツネがつくか——テーマと作家

(予告)／西武記録映画を見る会九月例会／

思想

丸山 章治 7～9

新作教育映画試写会九月例会／国際映画祭発

演出と思想——現状報告

黒木 和雄 10～11

表／日比谷図書館フィルムライブラリー九月

モニタージュと思想

長野 千秋 12～14

番組／都民劇場映画サークル第四回九月定期

シナリオと思想

厚木 たか 16～17

映画会／PR映画センター九月番組／記録映

映像——光と影と色彩と

成島東一郎 17～19

画ライブラリー／芸術関係単行本の紹介と幹

11月号予告

9

旋／世界実験ドキュメンタリー映画会

40～41

ドキュメンタリー理論研究会から

W 14～15

新人シナリオ・エッセイ・コンクール作品集

アラン・レネエ作品「夜と霧」コメンタリー

20～23・39

編集後記

42

ジャン・ケイロル／大島辰雄(訳) 20～23・39

日本発見シリーズ1・京都 京都府の中の一つ

24～26

の場所

神馬亥佐雄 24～26

第四卷第一〇号 一九六一(昭和三六)年一〇月一日

チェコスロバキアの記録映画「夜の町」とシエ

フランカ監督のこと 柿原 黎子 26

コンクールがせまっています 編集部 26

連載講座ドキュメンタリー映画の作り方 シナ

リオと演出のあいだ1 岩佐 氏寿 27 31

世界実験ドキュメンタリー映画会——第四回実

験映画を見る会 29

書評 吉見泰、岩佐氏寿、記録映画作家協会編

『記録映画の技術』 山之内重己 30 31

海外映画事情6 (チェコスロバキア) 先づ観

たのちに——チェコスロバキアの児童映画祭

ヤン・ホルジェイシュ／厚木たか (訳) 32 33

CM界の話題 潜在意識にうったえるコマーション

アントラクト 島谷陽一郎 34 35

映画紹介 「鳩」と「独裁者」と「大戦争」 大島 辰雄 36 37

短編映画時評 PR映画作家の不在 田島 浩 37 38

劇映画時評 映画の死せる季節 梶 勲 38 39

ドキュメンタリー通信

ドキュメンタリー理論研究会十月例会／新作

及国際短編試写会／記録映画研究会十月例会

／一九六一年教育映画祭／西武記録映画を見

る会十月例会／新作教育映画試写会十月例会

／アマチュア映画祭発表／日比谷図書館フィ

ルムライブラリー十月番組／都民劇場映画サー

クル第五回定期公演外国名画祭／PR映画セ

ンター十月番組／中国映画祭 (予告)／記録

映画ライブラリー／記録映画「西陣」自主上

映計画すすむ／世界実験ドキュメンタリー映

画会／記録映画「夜と霧」上映委員会結成さ

る！

新人シナリオ・エッセイ コンクール作品募集

編集後記 40 41

第四巻第一一号 一九六一 (昭和三六) 年一月一日

写真 東松 照明 表紙

表紙装幀 栗津 潔 表紙

表紙

11月のことば 小さな淀み F. G. Lorca 3

芸術とディスコミュニケーション 吉本 隆明 4 5

特集 記録映画作家研究——作家の発言と作家論

1 自作を思う 京極 高英 7 8

永久振子——京極高英論の1 大沼 鉄郎 9 10

2 私の場合 羽仁 進 11

戦術家・羽仁進 浅井 栄一 12 13

3 自作を追って 竹内 信次 14

竹内信次の呪術 松川八洲雄 15 16

4 多情で多重的な吉見泰 吉見 泰 17 18

吉見泰の横顔 杉山 正美 19 20

5 薊の道に抗して——自作を語る

松本 俊夫 21 24

松本俊夫を語る 佐野美津男 24 25

12月号予告 20

アラン・レネエ、ロベール・エッサンス作品

「ゲルニカ」

ポオル・エリュアール／大島辰雄(訳) 26 27

劇映画時評 10月の映画 梶 勲 28

短編映画時評 イメージのデパート

海外映画事情7(ポーランド) ポーランド映

画の新しい傾向

イェジー・テープリッツ／康敏星(訳) 30 33

企業訪問 三年目の現実——日経映画社

苗田 康夫 33 35

CM界の話題 最近のアニメーション——CM

島谷陽一郎 36 38

フィルムについての考察

ドキュメンタリー通信 新人シナリオ・エッセイ コンクール作品募集 39 41

編集後記 野田 42

写真 「飼育」より 3 6 24

第四卷第一二号 一九六一(昭和三六)年二月一日

写真 東松 照明 表紙

表紙装幀 栗津 潔 表紙

12月のことば A・ランボオ 3

写真 アラン・レネ「去年マリエンバッドで」 3

二つのかがり火の間の感想——大島渚「飼育」

について	小林祥一郎	4	6
特集 一九六一年の記録映画界			
座談会 一九六一年をかえりみて——記録映画教育映画界の動向			
加納竜一／栗山富郎／富沢幸男／野田真吉		7	11
教育映画製作の実態から——ハミリ映画の抬頭と現場			
宮永次雄／望月武夫		12	14
記録映画の劇場上映	村尾 薫	15	17
次号予告		11	
記録映画作家研究 6 故太田仁吉			
太田仁吉さんと私	鈴木喜代治	17	18
太田さんについての思い出	奥山大三郎	19	
教育映画祭作品評			
社会教育映画評 真面目に考えよ	高林 陽一	20	21
学校教育映画評 教育はコミュニケーションである——学校教育映画雑感	岩佐 寿弥	21	23
産業教育映画評 産業教育映画の位置	物江 竜慶	24	25
国際短編映画評 キツネつきとタヌキばやし——			
国際短編映画祭ノート	大島 辰雄	25	27
連載講座ドキュメンタリー映画の作り方	シナリオと演出のあいだ?		
岩佐 氏寿		28	30
頽廢へのメス——第六回全日本学生映画祭から	西江 孝之	31	32
お知らせ (*協会事務所移転)			
海外映画事情 8 (ポーランド)	ポーランド映画の新しい傾向 (下)		
イェジー・テープリッツ／康敏星 (訳)		33	35
予告 第五回「実験映画を見る会」一九六二年二月中旬開催			
作品評 「夜と霧」(アラン・レネ作品)	木村 晃	36	
企業訪問 「百万人の陽気な女房」たちから「鉤虫」へ——桜映画社	西本 祥子	37	38
新映画「戦場」			
書評 ファルス誕生——佐野美津男著『浮浪児の栄光』	石堂 淑朗	39	
ドキュメンタリー通信			
新人シナリオ・エッセイ コンクール作品募集		40	41
		42	

編集後記

N

42

第五巻第一号 一九六二(昭和三七)年一月一日

写真

東松 照明 表紙

表紙装幀

粟津 潔 表紙

海と洋服(詩)

関根 弘 3

写真 真鍋博「シネ・バラード 作品その1」

から 3

特集 私の記録映画論——各界からの苦言と提言

1 「何もかも見た」と「何も見なかった」の間 「夜と霧」と「二十四時間の情事」

野間 宏 4 〵 6

2 記録映画のための断片

寺山 修司 6 〵 7

3 横すべり映画論

吉井 忠 8 〵 10

4 一度目も喜劇、二度目も喜劇

林 光 10 〵 11

5 ドキュメンタルということについて——

ドラマをめぐる断片 竹内 敏晴 12 〵 14

6 作家の構造

山際 永三 14 〵 16

7 処世術を改めない者は破滅する——君主

論・第二十五から 和田 勉 16 〵 18

8 素朴な発言 白坂依志夫 18 〵 20

9 ジャーナリストの眼——記録映画の可能性

佐藤 忠男 20 〵 22

10 科学映画の今日的課題 小倉 真美 22 〵 23

11 前衛エリートの大衆疎外——記録映画運

動の大衆的現実について 木崎敬一郎 24 〵 26

12 一にも二にも、まず上映 浅野 翼 27 〵 29

13 視聴覚運動の発展のために 高垣礼二郎 29 〵 30

第6回実験映画を見る会

「連帯」と拍手——東京における中国映画祭

竹内 実 31 〵 34

次号予告

連載 映画サークル運動の十年1 山之内重己 37 〵 39

ドキュメンタリー通信 40 〵 41

『記録映画』読者新春映画会

編集後記 N 42

第五卷第二号 一九六二(昭和三七)年二月一日

書こう!

編集部 25

作家研究6 丸山章治

丸山章治と私

加納 竜一 30
31

自作を語る——説明と表現

丸山 章治 31
33

自主作品の動き

山 山 33

新しい色彩絶対映画論——色彩の平均率的な調

律をめざして

広木 正幹 34
35

シナリオ・エッセイコンクール第一次審査発表

第八回定例総会報告

長野/山之内

36

連載 映画サークル運動の十年2 山之内重己

37
39

ドキュメンタリー理論研究会一月例会報告

根本 治郎

39

ドキュメンタリー通信

40
41

編集手帖

M

原稿公募規定

42

第五卷第二号 一九六二(昭和三七)年二月一日

写真

東松 照明 表紙

表紙装幀

粟津 潔 表紙

要求(*詩)

谷川俊太郎 3

特集 芸術的前衛のヴィジョン

反「芸術運動」を

谷川 雁 4
6

島倉千代子論

佐々木 守 7
9

偶然主義者の手紙——ある実験の報告

池田 龍雄 10
12

イメージの対決——方法と記録についての覚

書敵試論

野田 真吉 13
15

孤独と連帯

福本 安彦 16
19

大衆という名の物神について

松本 俊夫 19
23

作家の創造的課題

デオ・レズワルシュ/長沼宗裕(訳)

24
25

完成した二本の映画——「西陣」をめぐる諸問題

浅井 栄一 26
29

第六回世界の実験映画をみる会

編集部 15

作家研究6 丸山章治

丸山章治と私

加納 竜一 30
31

自作を語る——説明と表現

丸山 章治 31
33

自主作品の動き

山 山 33

新しい色彩絶対映画論——色彩の平均率的な調

律をめざして

広木 正幹 34
35

シナリオ・エッセイコンクール第一次審査発表

第八回定例総会報告

長野/山之内

36

連載 映画サークル運動の十年2 山之内重己

37
39

ドキュメンタリー理論研究会一月例会報告

根本 治郎

39

ドキュメンタリー通信

40
41

編集手帖

M

原稿公募規定

42

第五卷第三号 一九六二(昭和三七)年三月一日

写真

東松 照明 表紙

表紙装幀

粟津 潔 表紙

仕事(詩)	吉野 弘	3	妖怪がきて呷く	西江 孝之	29
政治と芸術・ひとつの視点——「革命運動の革			匿名の新人	飯村 隆彦	33
命的批判」の問題	針生 一郎	4	ドキュメンタリー理論研究会二月例会報告	佐野美津男	32
第一回新人シナリオ・エッセイ コンクール最		7	映画サークル運動の十年3	山之内重己	35
終発表		8	海外映画事情9(ポーランド)	東欧の動画作	37
座談会(審査経過)	シナリオの部		家たち(1)	岩淵 正嘉	38
真鍋博/長谷川龍生/吉見泰/岩佐氏寿/			ドキュメンタリー通信	C・U	40
野田真吉/京極高英		8	編集手帖		41
感想	黒木 和雄	10			42
座談会(審査経過)	エッセイの部				
丸山章治/羽仁進/榎木恭介		13			
短評	大島 渚	14			
第一回シナリオコンクール佳作入選作		15			
鼻(記録映画)	伊藤 俊也	16	写真	東松 照明	表紙
黒い影の少女(社会教育映画)	阿相 謙二	20	表紙装幀	粟津 潔	表紙
4月号予告		23	M・Tに(詩)	茨木のり子	(3)
原稿公募規定		12	特集 発見と創造		
特集 新人の条件		19	新選組とハチ公	榎木 恭介	4
新人の条件	丸山 章治	24	未知なるものをみつめる眼	小林 勝	7
旧人の条件	大沼 鉄郎	26	空間について	岩佐 氏寿	10
		28	科学への接近	吉見 泰	14
					18

原稿公募規定

次号予告

作家研究7 西尾善介

作家西尾善介氏の功罪

自作を語る——作品に於ける自己の発見

学生映研の課題

の姿勢 自主映画「ゼロの視点」製作

ある大衆の記録——テレビ・ドキュメンタリー

制作ノートより(1)

映画会のお知らせ

連載 映画サークル運動の十年4

ドキュメンタリー理論研究会四月例会報告

評論応募原稿 批評の批評は両刃の剣

ドキュメンタリー通信

編集手帖

第五卷第六号 一九六二(昭和三七)年六月一日

写真

表紙装幀

昆虫記(詩)

特集 映画・インターナショナル

マリエンバートという城——いわゆる意識の

ドラマと映画的思考の問題によせて

灰の代償——Actionの論理

欲望——その開示

無について

井川澄江論

夢——その否定性を契機として

第七回芸術映画をみる会

ドキュメンタリー理論研究会五月例会報告

記録映画研究会四月例会報告

座談会 PR映画と我々の創造的課題——現代

19

21

22

23

23

27

28

29

30

34

34

35

37

37

38

39

40

41

42

10

10

10

10

10

10

10

10

10

10

10

10

10

10

10

10

10

10

10

映画の外から見た

大沼鉄郎／松尾一郎／楠木徳男／杉山正美／

黒木和雄／西本祥子／藤原智子

24
30

ある大衆の記録——テレビ・ドキュメンタリー

制作ノートより(2)

粕 三平 32
35

映画時評 「尼僧ヨアンナ」をめぐって

大沼 鉄郎 36
37

原稿募集

連載 映画サークル運動の十年5 山之内重己

38
40

ドキュメンタリー通信

編集手帖

N 42 41

第五卷第七号

一九六二(昭和三七)年七月一日

写真

東松 照明 表紙

表紙装幀

粟津 潔 表紙

夜おそく、女が……(詩)

岩田 宏 3

特集 アニメーション

アニメーション映画の可能性

中原 佑介 4
6

世界のアニメーションの動向

長井 泰治 7
11

アニメーションの現状と将来への展望

柳原 良平 12
13

動画映画の笑い——マクラレンの技法

岡本 昌雄 14
17

人形について——私の過去から現在に至る考察

杉原 せつ 18
19

CMアニメーション制作の場から

庵原 和夫 20
21

アニメーション・シネ・ポエム LINES

OF LINES 谷川俊太郎／真鍋博 22
25

アニメーション映画シナリオ 新竹取物語

関根弘／九里洋二 26
35

企業訪問 笑惜記——東映動画 権藤 貞治 34
35

「オルフェの遺言」の余白に 谷口 正元 36
37

映画時評 大沼 鉄郎 38
39

ドキュメンタリー通信 40
41

編集手帖 N 42

原稿公募規定 42

第五卷第八号 一九六二(昭和三七)年八月一日

写真

表紙装幀

夕暮れの唄(詩)

シナリオ特集

実験映画シナリオ 「アンダルシアの犬」

ルイス・ブニエール／サルバドール・ダリ

／内田岐三雄(訳)

記録映画コンテ 「夜行郵便」

ハリー・ワット／長田和雄(訳)

PR映画シナリオ 「ナイロンの幻想」(仮

題)

PR映画シナリオ 「神奈川」 清水 邦夫

科学映画シナリオ 「マリン・スノー」

TVドラマ 「おかあさん」

直接購読のおすすめ

フランス映画の回顧上映にあたって

次号予告

映画時評 「2ペンスの希望」

ドキュメンタリー通信

編集手帖

第五卷第九号 一九六二(昭和三七)年九月一日

写真

表紙装幀

物干鉢(詩)

特集 テレビ・ドキュメンタリー

個性の不在——テレビ・ドキュメンタリー

創造の条件——テレビドキュメンタリーをめぐって

テレビ・ドキュメンタリーにおける角膜移植論

テレビドキュメンタリーに新しい批評と理論

の構築を

斉藤 宗武

朝倉 撰

朝倉 撰

朝倉 撰

朝倉 撰

朝倉 撰

朝倉 撰

東松 照明

栗津 潔

石川 逸子

黒木 和雄

山際 永三

長野 千秋

渡辺 泰雄

15

25

35

36

37

38

3

3

4

8

8

10

14

16

19

20

25

26

35

7

9

11

12

13

表現の自由と製作条件と——岩波映画「地理

テレビ問題」を中心にして 林 吾郎 14～17

各社テレビ・ドキュメンタリー番組一覽

編集部 18

記録映画研究会報告1——PR映画

持田 裕生 11

シナリオ

PR映画シナリオ 「わが愛北海道」

黒木 和雄 19～25

社会教育映画シナリオ 「黙ってはいけ

ない」 丸山章治／古川良範 26～29・35

アントニオーニまたは敗北の方法 篠遠 允彦 30～31

映画時評 旅立ちと土着——「かながわ」「わ

が愛北海道」 大沼 鉄郎 32～33

書評 佐藤忠男著『斬られ方の美学』

佐々木 守 34～35

記録映画研究会報告2——科学映画

杉原 せつ 35

ドキュメンタリー通信 36～37

編集手帖 M 38

第五卷第一〇号 一九六二(昭和三七)年二月一日

写真 東松 照明 表紙

表紙装幀 栗津 潔 表紙

鳥の殺陣(詩) 長谷川龍生 3

特集 映画状況の現在

大衆的思想劇の創造 武井 昭夫 4～8

運動の終結 佐々木 守 9～11

一九六二年の「私」——PR映画をどうとら

えるか 間宮 則夫 12～14

肉を切らせて骨を切れ——あなたの中のA君

に宛てて 松本 俊夫 14～17

作家研究8 伊東寿恵男

自作を語る 伊東寿恵男 18～20

伊東寿恵男論ノート 野田 真吉 20～24

記録映画研究会報告 根本 治郎 25

ドキュメンタリー理論研究報告 苗田 康夫 25

欄外注記——日仏交換映画祭と国際短編映画祭

大島 辰雄 26～28

映画評

ルンドへの道——「野いちご」	須川 栄三	29
学校とカンケイない子ら——「手をつなぐ子ら」	阿部 進	30 31

書評

ガイド・アリストアルコ著『映画理論史』	花松 正卜	32 33
中原佑介著『ナンセンスの美学』	榎木 恭介	34

映画サークル運動の十年6

おことわり

次号予告

山之内重己	35 37
丸山 章治	37
ドキュメンタリー通信	38 39
編集手帖	M 40

第五巻第一一号 一九六二(昭和三七)年二月二日

写真

表紙装幀

手(詩)

東松 照明	表紙
粟津 潔	表紙
菅原 克己	3

特集 映画状況とその展望

きみたちの失敗……——日本映画一九六二年の状況と行動	小川 徹	4 7
蛇のように身をくねらせて目標に迫ろう——映画芸術運動の方向とプログラム私見	野田 真吉	8 12

「貧困」と貧困

ぼくらの立っている所

ロカビリー死刑——その罪状と救済

テレビドラマ序論 新しい主題の形成

対談 反体制映画運動の現状と矛盾

「裸の島」の自主配給から「人間」の自主興行まで

野田 真吉	8 12
大沼 鉄郎	13 15
黒木 和雄	16 17
西江 孝之	18 21
根本 治郎	22 23
富沢幸男／徳永瑞夫	24 27
能登 節雄	27 29

劇映画時評 「怒りの葡萄」「人間」

楠木 徳男	30 32
-------	----------

PR映画時評 「私はナイロン」「一粒の麦」

藤原 智子	32 33
-------	----------

映画サークル運動の十年 7 山之内重己 34 ~ 36

ドキュメンタリー通信 37

編集手帖 N 38

第六卷第一号 一九六三(昭和三八)年一月一日

表紙デザイン 粟津 潔 表紙

座談会 われわれは何に固執すべきか——映画

作家の今日的立脚点

大島渚 / 佐々木守 / 田村孟 / 森川英太郎 4 ~ 12

特集 PR映画の可能性

ある手紙と日記による反省 山口 勝弘 14 ~ 15

広告的建築のためのアドバタイジング

磯崎 新 16 ~ 19

PR映画に出口があるか 苗田 康夫 20 ~ 23

視標 楠木 徳男 24 ~ 26

座談会 PR映画の問題点

徳永瑞夫 / 谷川俊太郎 / 東松照明 / 西本祥

子 / 城戸昌夫 / 東陽一 / 大島辰雄 28 ~ 34

読者のみなさまへ わ 19

テレビドラマ論2 茶の間の温度を変えるもの

は何か 根本 治郎 35 ~ 36

ドキュメンタリー通信 37

編集手帖 N 38

第六卷第二号 一九六三(昭和三八)年二月一日

表紙デザイン 粟津 潔 表紙

特集 ドキュメンタリーと“発想”

ドキュラマ論——DOCUMENTARYの発想学

寺山 修司 4 ~ 6

アイデアとイメージ 大川 信明 7 ~ 10

非音楽の音楽——映画音楽と発想

湯浅 譲二 10 ~ 11

定着させるべきものの萌芽 高林 陽一 12 ~ 14

思いついたら命がけ 平野 克己 14 ~ 16

書評 『現代革命へのアプローチ』

榎野 義明 17

オレハ映画ノコトヲ話シテイルノダ——市川崑・

松本俊夫・その他 東 陽一 18 ~ 21

テレビドラマ論3 「観念ドラマ」の超克

根本 治郎 22 ~ 23

エネルギーの存在と作家の不在——短編映画

「白鳥事件」 間宮 則夫 24 ~ 25

次号予告 25

白い一点をつきぬける抵抗力を——西部記録映

画をみる会一月例会「シリコロン」「長さの

スタンダード」 持田 裕生 26 ~ 27

わんぱくとボタンのカンケイ——長編映画「わ

んぱく戦争」 大島 辰雄 27 ~ 28

子どもに武器を——長編映画「わんぱく戦争」

阿部 進 29 ~ 30

映画ブラウン運動論 松川八洲雄 31 ~ 33

映画サークル運動の十年8 山之内重己 34 ~ 36

ドキュメンタリー通信 37

編集手帖 N 38

第六卷第三号 一九六三(昭和三八)年三月一日

表紙デザイン 粟津 潔 表紙

特集 虚構の意味

骨ぬきにするための術——アプローチの個有

性について 和田 勉 4 ~ 7

テレビ・ディレクターの主体性とは——現場

からの近況報告 大山 勝美 8 ~ 10

ヒポコンデリヤの論理 福本 安彦 11 ~ 14

メガネと犯罪——ある鑑定書についてのノート

新・三つの大罪 粕 三平 14 ~ 17

短篇映画評 「日本10ドル旅行」「ふくおか」 長野 千秋 18 ~ 20

藤原 智子 21

長篇映画評 「史上最大の作戦」にことよせて

東 陽一 22 ~ 23

シナリオ 「空気のなくなる日」 伊東寿恵男 24 ~ 34

テレビ論壇4 「現実」との野合を排せ

根本 治郎 35 ~ 36

ドキュメンタリー通信 37

編集手帖 N 38

第六卷第四号 一九六三(昭和三八)年四月一五日

表紙デザイン 栗津 潔

特集 映像表現と聴覚性

映像文化における視覚と聴覚 荻 昌弘 4〜6

「セリフ」小論 清水 邦夫 7〜9

古典的なかまえの中で 林 光 9〜11

音は如何に寄与すべきか 米長 寿 11〜13

テレビにおける音処理の問題 太地 恒夫 14

「資料研究会」ノート ポーランド映画の背景

——その文化状況について(1) 粕 三平 15

メガネと犯罪——ある鑑定書について?

粕 三平 16〜19

インサイダー・ドキュメンタリー 大沼 鉄郎 20〜23

変質について——「天国と地獄」に関する、一

女子学生への手紙 東 陽一 24〜25

三才で死ぬのはなぜ可哀そうなのか——西武記

録映画を見る会・河野哲二作品集をみて

松尾 一郎 26〜27

ドキュメンタリー理論研究会報告 西江 27

書評 形にならない形への模索——滝口修造著

『点』 松本 俊夫 28〜29

有在は有罪か——日本文化発祥異説

竹内 健 30〜33

映画批評とは何か? 山際 永三 34〜36

ドキュメンタリー通信 編集手帖 38 37

第六卷第五号 一九六三(昭和三八)年五月一五日

表紙デザイン 栗津 潔 表紙

特集 「非芸術」との対決

芸術と非芸術について——マス・コミュニケ

イションを中心に 中原 佑介 4〜6

改訂版あばんぎやると——いまやシュールリ

アリズムは退却すべきか 佐藤 重臣 7〜9

数理的なものと魔術的なもの 西江 孝之 10〜13

人工の眼——疎外の一側面 池田 元嘉 14〜16

家具としての映画——記念写真について

芸術上↑↓非芸術——ティンゲリーへの賛歌	飯村 隆彦	17	↓	19
ドキュメンタリー理論研究会報告 長野 千秋	池田 龍雄	19	↓	21
アニエス・ヴァルダとのインタヴュー		13		
ラシエル・ルフォール／厚木たか（訳）		22	↓	24
招待作品にみる新鮮な方法と独創的なイメージ	富沢 幸男	25		
長編映画評 われわれはどこに戦後世代との接				
点を発見しうるか——「二十才の恋」その他	東 陽一	26	↓	27
短篇映画評 強烈な凝視——映像のもつ説得力				
——「ある機関助手」ほか 藤原 智子		28	↓	29
誤解するたのしみ——西武記録映画を見る会・				
楠木徳男作品集より 山元 敏之		30	↓	31
次号予告		31		
運動の確認——大島渚・松本俊夫を中心に	荒井美三雄	32	↓	34
音・おと・オト——「エフェクト大革命」に関	大野 松雄	34	↓	36
する一つの考察				
ドキュメンタリー通信				
編集手帖				
第六巻第六号 一九六三（昭和三八）年七月一日				
表紙デザイン	栗津 潔			
特集 映画と宣伝				
煽動精神を失ったPR映画	榎木 恭介	4	↓	6
芸術への回帰	持田 裕生	7	↓	9
佐々木守のPR映画論	佐々木 守	10	↓	13
やってしまうこと	栗津 潔	14	↓	17
ドキュメンタリー理論研究会報告四月例会				
サラリーマン演出家という名の職種にあって僕	苗田 康夫	13		
らはテレビドラマをつくる				
実相寺昭雄／村木良彦		18	↓	20
声明 記録映画作家協会運営委員会		21		
長寿村でも生きられない——ルポ・若ものたち				
のいない村 杉原 せつ		22	↓	23
映像（イメージ）と虚像（イメージネール）				

——第3回フランス映画祭から	大島 辰雄	24	～	25
映画サークル運動の十年(最終回)	山之内重己	26	～	28
音・おと・オト(2)——「エフェクト大革命」				
に関する一つの考察	大野 松雄	29	～	31
いじわるじいさんポチ借りて——西武における				
岩佐氏寿作品集をみて	平野 克己	32	～	33
孤立感と冒険への切り込みの浅さ——「原野に				
生きる」「小さな冒険旅行」から	藤原 智子	33	～	35
作家は主題の中に安住できるか——「武士道残				
酷物語」の主題と方法について	東 陽一	35	～	36
ドキュメンタリー通信				
編集手帖	N	38		
第六巻第七号 一九六三(昭和三八)年八月一日				
表紙デザイン	粟津 潔		表紙	
レネエとの出会い——「去年マリエンバードで」				
序文 アラン・ロブ・グリエ／大島辰雄(訳)		4	～	9
戦後十八年	丸山 章治	10	～	12
日本のカモメ	杉原 せつ	12	～	15
情熱の記録	西江 孝之	16	～	17
非政治主義の政治性	星山 圭	18	～	20
漫談戦後芸術論	森 秀人	20	～	22
企業とギャラと芸術と——運動の論理をめぐって				
	高瀬 昭治	23	～	25
シナリオ(抜萃) アラン・レネエ作品「世界				
のすべての記憶」				
	アラン・レネエ／大島辰雄(訳編)	26	～	27
長編映画時評 ノン・スパーで見たフォルコ・				
クイリチの「チコと鮫」	山中 恒	28	～	29
短編映画時評 「ゼロの発見」「ある化学プラ				
ントの記録」	藤原 智子	30	～	31
書評 映画芸術の哲学へのアプローチ——浅沼				
圭司著『映画美学入門』	大島 辰雄	32	～	33
再び自主製作運動について	かんけ・まり	34		
ドキュメンタリー理論研究会報告	宮井 陸郎	36		
ドキュメンタリー通信				
編集手帖	S	38		

第六卷第八号 一九六三(昭和三八)年九月一日

表紙デザイン 栗津 潔 表紙

特集 現代映画作家論(Ⅰ)——ドキュメンタ

リーとアバンギャルド

事実(ファクト)と虚構(フィクション)

——ドキュメンタリーからフィクションへ

の道へ 大島 辰雄 4~8

未来の人類も女からしか生まれぬか——異

説ルネ・クレマン論 小川 徹 10~13

労働者の感情旅行——カレル・ライスにお

ける意識の把握 関根 弘 14~17

超現実主義をいかに超克するか——ブニエ

ルの現実へのせまりかた 虫明亜呂無 17~19

情況に革命的に参与する眼を——ロッセリー

ニのロゴスとパトス 大沼 鉄郎 20~23

アパシーからの脱出は可能か——アントニオー

ニの映像空間 長野 千秋 24~27

私はいまメチエに固執したいのだ——アラン・

レネエが斉らしたもの 佐藤 重臣 28~31

言い知れぬ重みをもった感動——「日本の夜明け」によせて 八幡 省三 32~33

偽造された歴史——日本共産党四十周年記念映

画「日本の夜明け」批判 松本 俊夫 34~36

記録映画研究会報告 広瀬 涼二 36

ドキュメンタリー通信

編集手帖 N 38

第六卷第九号 一九六三(昭和三八)年一〇月一日

表紙デザイン 栗津 潔 表紙

マリエンバートの秘密

アラン・レネエ／大島辰雄(訳) 4~7

特集 二十代からの発言

社会改良主義へのメス 根本 治郎 8~10

かくて意識の透明性にぶつかる 宮井 陸郎 11~13

通らねばならない道 高井 達人 14~16

「エンジンのない自動車」を動かすことはで

きない——大衆へのすぐれたレポーターに

アクロバットの横談縦談——小川徹の近作評論
集をめぐる感想 玉井 五一 28 ~ 30

再構成された世界のもつリアリティー——東京

シネマ作品「生命誕生」から 辻 功 31

スクリーンを通りぬける蟬について——羽仁進

監督「彼女と彼」のことなど 松川八洲雄 32 ~ 33

東京オリンピック記録映画とスクリーン・クォー

ター問題 村尾 薫 34 ~ 36

ドキュメンタリー理論研究会報告九月号例会

根本 治郎 35

キリンの斑点——シュールレアリスムの小品集

ルイス・ブニエール／大島辰雄（訳） 37 ~ 40

ドキュメンタリー通信

編集手帖 N 42 41

第七巻第一号 一九六四（昭和三九）年一月一日

表紙デザイン 栗津 潔 表紙

座談会 映画の未来は可能か——六三年度の芸

術・思想状況をめぐって

武井昭夫／小川徹／針生一郎／大島渚／松本
俊夫 4 ~ 13

特集 現代映画作家論（Ⅱ）

否定から肯定へ——ベルイマンの世界の構造

浅沼 圭司 14 ~ 18

感性の薄刃のこと・その他——トリュフォー

覚え書 東 陽一 18 ~ 21

誰かが如何に現実を再現するか——カワレロ

ウィッチにおける人間性の回復

持田 裕生 22 ~ 24

汝の顔を汝のヘドの海にせよ——ゴダール論

ノート 野田 真吉 25 ~ 27

長編映画評

生まれかわる状況——今村昌平作品をみて

関根 弘 28 ~ 29

「にっぽん昆虫記」についての男性的反省

松川八洲雄 30 ~ 31

短編映画評 絶望的なある感想——創造社製作

「ある誕生」から 恩地日出夫 32 ~ 33

拝啓イオネスコ様——ヒラメと赤蕪の普遍性

反語の世界——とめとナナの転落と「生」
竹内 健 34
37

機関誌『記録映画』の発展のために——新年度
の運動方針にもとづいて
徳永 瑞夫 41
野田 42

石崎浩一郎 38
39
40

ドキュメンタリー通信

編集手帳
N 42 41

第七卷第二号 一九六四(昭和三九)年三月一日

表紙デザイン 栗津 潔 表紙

テレビ・ドキュメンタリー・シナリオ 「忘れ

られた皇軍」 大島 渚 4
5
9

シナリオ 「忘れられた人々」

ルイス・ブニエール／ルイス・アルコリサ 10
11
28

ルイス・ブヌエル論 上——『映画におけるシュー

ルレアリスム』第八章から

アド・キルー／大須賀武(訳) 29
30
35

マリエンバートの三つの記号存在——記憶にお

ける現実態の代数

ガストン・ブーヌール／大島辰雄(訳) 36
37
39

『記録映画』既刊目録

40

『記録映画』執筆者索引・凡例

- 一、本索引は配列を五十音順とし、外国人名も姓を基準とした。
- 一、表記は、巻数―号数―頁数の順とした。「創」は創刊号を示す。
- 一、「―」は編集部の補足であることを示す。

(編集部)

『記録映画』執筆者索引

《あ》

- | | | | |
|------------|---|---|--|
| 青木 敏 | 4-7-25 | | |
| 赤佐政治 | 4-3-32 | | |
| 浅井栄一 (浅井) | 1-4-36, 3-12-14, 4-1-23,
4-7-26, 4-11-12, 5-2-26 | | |
| 朝倉 撰 | 創-カット, 1-1-カット,
1-2-カット, 1-3-カット, 1-4-カット,
2-11-30, 4-5-11, 5-8-35 | | |
| 浅沼圭司 | 7-1-14 | | |
| 浅野 勲 | 3-9-34 | | |
| 浅野辰雄 | 4-3-33 | | |
| 浅野 翼 | 5-1-27 | | |
| 阿相謙二 | 5-3-20 | | |
| 足立興一 | 1-2-33 | | |
| 厚木たか | 創-25, 1-1-23, 1-2-30, 1-3-16,
1-5-9, 2-3-9, 2-4-32, 2-6-28, 2-7-34,
2-8-14, 2-9-32, 2-12-31, 3-6-10,
4-5-29, 4-10-16, 4-10-32, 6-5-22 | | |
| 安部公房 | 3-7-4 | | |
| 安倍成男 | 4-3-32 | | |
| 阿部慎一 | 創-2 | | |
| 阿部 進 | 3-12-32, 4-3-26, 5-10-30, 6-2-29 | | |
| 阿部政雄 | 1-3-23 | | |
| 荒井英郎 | 2-2-37, 2-4-23, 3-5-9, 5-4-19 | | |
| 荒井浪速 | 3-10-31 | | |
| 荒井美三雄 | 6-5-32 | | |
| 有井 基 | 3-9-25 | | |
| アルコリサ, ルイス | 7-2-10 | | |
| 粟津 潔 | 1-2-カット, 1-3-カット,
1-4-カット, 4-6-表紙, 4-7-表紙,
4-8-表紙, 4-9-表紙, 4-10-表紙,
4-11-表紙, 4-12-表紙, 5-1-表紙,
5-2-表紙, 5-3-表紙, 5-4-表紙,
5-5-表紙, 5-6-表紙, 5-7-表紙,
5-8-表紙, 5-9-表紙, 5-10-表紙,
5-11-表紙, 6-1-表紙, 6-2-表紙,
6-3-表紙, 6-4-表紙, 6-5-表紙, | | |
| | | 6-6-表紙, 6-6-14, 6-7-表紙, 6-8-表紙,
6-9-表紙, 6-10-表紙, 7-1-表紙,
7-2-表紙 | |
| | | い→岩佐氏寿 | |
| | | 飯島耕一 | 4-8-10 |
| | | 飯田勢一郎 | 4-3-33 |
| | | 飯村隆彦 | 4-3-33, 4-7-18, 5-3-33, 6-5-17 |
| | | イヴェンス, ヨーリス (イヴェンス, ヨリス) | 2-9-16, 4-7-35 |
| | | 庵原和夫 | 5-7-20 |
| | | 池田龍雄 | 3-2-11, 4-1-4, 4-6-9, 4-8-3,
5-2-10, 6-5-19 |
| | | 池田元嘉 | 5-4-13, 6-5-14 |
| | | 石川逸子 | 5-9-3 |
| | | 石子順造 | 2-6-9, 4-4-14, 4-9-20 |
| | | 石崎浩一郎 | 7-1-38 |
| | | 石島晴夫 | 4-8-14 |
| | | 石田 修 | 2-5-15, 3-5-9 |
| | | 石田 巖 | 4-3-33 |
| | | 石堂淑朗 | 3-12-23, 4-3-18, 4-12-39 |
| | | 石本統吉 | 2-1-6 |
| | | 磯崎 新 | 6-1-16 |
| | | 一柳 慧 | 6-10-7 |
| | | 伊藤俊也 | 5-3-16 |
| | | 伊東寿恵男 | 5-10-18, 6-3-24 |
| | | 稲葉三千男 | 3-5-4 |
| | | 乾 孝 | 2-4-4 |
| | | 茨木のり子 | 5-4-(3) |
| | | 入江一彰 | 1-4-38 |
| | | 入江勝也 | 1-1-23 |
| | | 岩佐氏寿 (岩佐、い) | 創-11, 創-12, 創-32,
1-1-5, 1-1-38, 1-2-25, 1-2-35, 1-2-38,
1-2-カット, 1-3-31, 1-4-12, 1-5-34,
2-1-38, 2-2-6, 2-3-26, 2-4-8, 2-4-38,
2-6-23, 2-6-38, 2-12-9, 2-12-35,
3-1-23, 3-5-37, 3-10-23, 3-11-38,
3-12-27, 4-1-23, 4-1-38, 4-10-27,
4-12-28, 5-3-8, 5-4-10 |
| | | 岩佐寿弥 | 4-12-21 |

岩崎 昶 2-11-14, 2-12-23, 3-1-4, 3-3-23,
 3-4-23
 岩崎太郎 1-3-38, 2-3-34, 4-3-33
 岩田 宏 5-7-3
 イワノワ, ゲ 創-28
 岩淵正嘉 1-4-34, 2-5-34, 5-3-38, 5-4-36
 岩堀喜久男 1-1-23, 2-5-36, 3-1-6, 3-5-9,
 4-8-38
 上野耕三 1-5-8
 ウェルトフ, ギガ 4-5-34
 牛山純一 4-2-12
 内田栄一 4-3-20
 内田岐三雄 5-8-4
 海貝英子 創-12
 梅田克己 2-2-6
 瓜生忠夫 2-11-4
 S 4-5-40, 6-7-38
 江藤文夫 4-5-6, 4-9-22, 5-5-10
 N→野田真吉
 榎本利男 3-5-38
 江原 順 4-6-3
 M 5-2-42, 5-4-42, 5-9-38, 5-10-40
 エリュアール, ポール (エリュアール, ポオ
 ル) 4-6-3, 4-11-26
 O 6-9-15
 大川信明 6-2-7
 大久保正太郎 創-12
 大久保信哉 1-5-27
 大島辰雄 (大島) 1-4-7, 1-4-16, 1-5-23,
 2-1-14, 2-2-6, 2-2-28, 2-3-32, 2-4-14,
 2-5-23, 2-8-24, 2-8-37, 2-9-16,
 2-10-37, 2-11-26, 3-6-6, 3-8-36,
 3-11-31, 3-11-37, 4-1-23, 4-3-32,
 4-4-35, 4-7-14, 4-9-21, 4-10-20,
 4-10-36, 4-11-26, 4-12-25, 5-6-4,
 5-10-26, 6-1-28, 6-2-27, 6-6-24, 6-7-4,
 6-7-26, 6-7-32, 6-8-4, 6-9-4, 6-10-37,
 7-2-36
 大島 渚 3-1-23, 3-5-26, 3-11-6, 4-3-7,
 5-3-14, 5-8-26, 6-1-4, 7-1-4, 7-2-4
 大島正明 2-6-17, 2-11-14, 2-12-23,
 3-4-29, 4-6-46

大須賀武 7-2-29
 大沼鉄郎 (大沼) 1-4-38, 1-5-16, 2-3-6,
 2-5-6, 2-5-38, 2-6-30, 2-8-23, 2-8-24,
 2-8-32, 2-9-38, 3-5-23, 3-8-34, 4-8-19,
 4-11-9, 5-3-26, 5-5-37, 5-6-24, 5-6-36,
 5-7-38, 5-9-32, 5-11-13, 6-4-20,
 6-8-20, 6-10-15
 大野孝悦 4-3-33
 大野 進 5-5-28
 大野松雄 6-5-34, 6-6-29
 大藤信郎 1-3-24
 大峰 晴 2-11-36
 大矢恒子 2-2-32
 大山勝美 6-3-8
 小笠原基生 1-3-32, 1-4-28, 1-5-32,
 2-1-32, 2-2-34, 2-3-30, 4-7-6
 岡田 晋 3-7-8, 4-9-12
 岡田桑三 1-1-9, 1-5-30
 尾形尚文 6-9-22
 岡田好枝 創-12
 岡本昌雄 (岡本) 1-2-26, 1-3-24, 1-4-38,
 1-5-27, 2-2-30, 2-3-37, 2-4-7, 2-7-12,
 2-7-26, 4-3-32, 5-7-14
 岡本愛彦 4-4-20
 小川紳介 2-2-6
 小川 徹 4-4-18, 4-5-20, 4-6-34, 5-11-4,
 6-8-10, 7-1-4
 荻 昌弘 6-4-4
 奥山大三郎 4-12-19
 奥山大六郎 1-2-9
 小倉真美 5-1-22
 尾崎宏次 3-10-29
 長田和雄 5-8-8
 小沢敏夫 4-9-16
 小津淳三 2-2-6, 3-2-37
 小野善雄 2-1-36, 2-11-6
 恩地日出夫 3-9-23, 7-1-32

《か》

各務 宏 3-7-30, 3-8-23, 3-9-31, 3-10-36,
 3-11-34, 4-1-15, 4-2-23

柿原黎子 4-10-26
 梶 勲 4-10-38, 4-11-28
 粕 三平 3-1-28, 3-3-23, 3-4-23, 3-8-28,
 3-11-6, 4-1-12, 5-5-30, 5-6-32, 6-3-14,
 6-4-15, 6-4-16
 加瀬昌男 3-9-16
 片山茂樹 5-4-18
 勝田光俊 創-32
 且原純夫 3-2-14
 加藤公彦 3-1-37
 加藤松三郎 1-3-12, 2-7-36, 4-9-25
 加納竜一 1-4-30, 2-2-26, 3-5-9, 4-12-7,
 5-2-30
 樺島清一 3-4-12
 亀井文夫 1-5-6, 2-1-23
 カラノヴィチ, ア 6-10-18
 川尻泰司 1-1-14
 河内 紀 4-9-19
 川名次雄 1-3-34, 1-4-37, 2-2-6
 川本博康 1-3-30, 2-6-34, 2-11-23
 菅 忠道 創-12
 菅 敏 星 4-6-3, 4-11-30, 4-12-33
 菅家陳彦 2-3-37, 3-2-13, 3-10-29
 かんけ・まり 創-12, 2-3-18, 2-7-30, 6-7-34
 神田貞三 3-4-9, 3-12-25
 神原照夫 2-5-37, 2-10-12
 木崎敬一郎 3-7-14, 5-1-24, 5-5-18
 北川鉄夫 3-3-23, 3-4-23
 城戸昌夫 6-1-28
 木村 晃 4-12-36
 木村莊十二 1-3-9, 1-5-27
 教育映画作家協会 創-1, 2-1-13
 教育映画作家協会運営委員会 1-5-9, 3-7-3
 京極高英 1-2-17, 1-2-23, 2-2-6, 2-8-8,
 3-1-9, 3-2-30, 3-5-17, 3-7-37, 3-10-23,
 4-3-33, 4-7-18, 4-8-18, 4-11-7, 5-3-8
 キルー, アド 7-2-29
 記録映画作家協会 4-6-40
 記録映画作家協会運営委員会 4-8-29,
 6-6-21, 6-9-19
 『記録映画』編集委員会 4-8-29
 櫛野義明 6-2-17

楠木徳男 創-32, 1-3-28, 2-3-37, 2-9-25,
 4-3-32, 5-4-21, 5-6-24, 5-11-30,
 6-1-24
 久保田義久 1-2-17, 1-3-38, 2-1-38, 4-3-32
 クラカウア, ジーグフリード 3-1-32,
 3-2-28, 3-3-34, 3-4-34, 3-5-16, 3-7-30,
 3-8-23, 3-9-31, 3-10-36, 3-11-34,
 4-1-15, 4-2-23
 九里洋二 5-7-26
 栗山富郎 2-11-34, 4-12-7
 黒木和雄 1-5-27, 2-9-37, 3-11-10,
 4-3-33, 4-4-23, 4-10-10, 5-3-10,
 5-6-14, 5-6-24, 5-9-4, 5-9-19, 5-11-16,
 6-10-13
 黒田喜夫 5-5-(3)
 桑島 達 4-1-23
 桑野 茂 創-20, 1-1-23, 2-3-12, 2-8-10
 ケイロル, ジャン 4-10-20
 小泉 堯 創-30
 康 浩郎 3-1-12, 4-1-11, 4-3-32, 4-7-18,
 5-5-16
 河野哲二 創-32, 1-4-7, 1-4-32, 2-2-6,
 2-2-30, 2-10-7, 2-11-29, 3-3-10
 小島義史 1-1-12
 小林祥一郎 4-12-4
 小林 勝 5-4-7
 小森静男 3-3-23, 3-4-23
 小谷田亘 1-1-23, 4-3-33
 近藤才司 4-3-33
 権藤貞治 5-7-34
 《さ》
 斉藤宗武 5-8-15
 坂齋小一郎 1-2-37, 4-1-23
 坂田邦臣 1-4-7
 佐木秋夫 創-12
 佐々木基一 2-9-4, 3-6-33, 3-7-23, 4-7-4
 佐々木守 2-9-36, 3-11-18, 4-3-34,
 4-7-18, 5-2-7, 5-6-16, 5-9-34, 5-10-9,
 6-1-4, 6-6-10
 定村忠士 3-11-25, 4-3-10

佐藤 昭 4-7-12
 佐藤 巍 5-6-22
 佐藤重臣 5-6-11, 6-5-7, 6-8-28
 佐藤忠男 2-6-4, 3-8-4, 4-3-34, 5-1-20
 佐野美津男 2-4-29, 2-9-14, 3-5-29, 3-6-23,
 3-10-34, 4-1-32, 4-2-30, 4-4-28, 4-5-8,
 4-11-24, 5-3-32
 サルトル, J・P 4-7-3
 C・U 5-3-42
 塩見鮮一郎 5-5-38
 重松敬一 2-4-23
 実相寺昭雄 6-6-18
 篠遠允彦 5-9-30
 篠原央憲 4-9-18
 榛葉豊明 1-1-23, 2-1-38
 渋沢龍彦 4-6-6
 島谷陽一郎 創-32, 1-4-35, 4-3-33,
 4-7-30, 4-8-28, 4-10-34, 4-11-36
 清水邦夫 5-8-16, 6-4-7
 清水幸子 3-9-38, 4-7-18
 白井 茂 2-6-23
 白坂依志夫 4-8-7, 5-1-18
 神馬亥佐雄 4-10-24
 須川栄三 5-10-29
 菅原克己 5-11-3
 杉原せつ 1-4-38, 1-5-36, 2-3-16, 2-3-37,
 2-9-35, 5-7-18, 5-9-35, 6-6-22, 6-7-12
 杉山正美 創-31, 2-3-28, 2-5-6, 2-8-37,
 2-9-28, 3-1-16, 3-8-36, 4-3-32, 4-6-38,
 4-11-19, 5-6-24
 鈴木喜代治 4-12-17
 鈴木喜代春 2-4-12
 鈴木幹人 創-12, 2-1-30
 諏訪 淳 4-3-32
 瀬川昌昭 3-11-28
 瀬木慎一 2-7-4
 関根 弘 2-5-4, 2-10-30, 3-6-33, 3-7-23,
 3-9-4, 4-2-32, 4-3-4, 5-1-3, 5-5-4,
 5-7-26, 6-8-14, 7-1-28
 泉水 剛 6-9-17
 曾木耕一 3-9-13

《た》

太地恒夫 6-4-14
 高井達人 6-9-14
 高垣礼二郎 5-1-29
 高倉光夫→山際永三
 高桑康雄 2-4-16
 高島一男 1-3-4, 1-4-7, 2-7-37, 2-8-15,
 2-8-24, 3-5-34
 高瀬昭治 3-8-5, 3-12-16, 5-6-20, 6-7-23
 高綱則之 1-5-27
 高橋智江 1-2-17
 高橋秀昌 (田島浩) 4-6-27, 4-7-26,
 4-8-29, 4-10-37
 高林陽一 4-8-35, 4-12-20, 6-2-12
 滝口修造 6-9-32
 滝沢林三 6-9-28
 武井昭夫 2-8-4, 3-6-33, 3-7-23, 5-10-4,
 7-1-4
 竹内 健 6-4-30, 7-1-34
 竹内信次 4-7-28, 4-11-14
 竹内敏晴 5-1-12
 竹内 実 4-2-6, 5-1-31, 5-5-7
 武満 徹 4-7-30
 田島 浩→高橋秀昌
 田中 徹 2-4-23, 4-5-24
 田中ひろし 1-2-11
 田中 実 1-2-37
 田中弥壮 1-4-カット
 谷川 (谷) →谷川義雄
 谷川 雁 5-2-4
 谷川俊太郎 5-2-3, 5-7-22, 6-1-28
 谷川義雄 (谷川、谷) 創-19, 創-12,
 1-4-7, 2-2-11, 2-2-38, 2-4-36, 2-5-6,
 2-5-35, 2-5-38, 3-2-12, 4-3-32, 4-9-10
 谷口正元 5-7-36
 田畑正一 2-12-34, 3-11-15, 4-4-25
 田畑 正 4-8-22
 田原茂行 3-10-6
 W 4-10-14

玉井五一 2-5-28, 2-11-25, 3-6-4, 4-4-6,
6-10-28
田村 孟 4-1-30, 6-1-4
ダリ, サルバドール 5-8-4, 6-9-32
タルデュウ, ジャン 4-8-3
辻 功 6-10-31
T 4-7-40, 4-9-29
テーブルッツ, イェジー 4-11-30, 4-12-33
勅使河原宏 3-7-12
寺沢 建 1-5-38
寺山修司 4-6-18, 5-1-6, 5-6-3, 5-6-8, 6-2-4
東松照明 4-7-表紙, 4-8-表紙, 4-9-表紙,
4-10-表紙, 4-11-表紙, 4-12-表紙,
5-1-表紙, 5-2-表紙, 5-3-表紙,
5-4-表紙, 5-5-表紙, 5-6-表紙,
5-7-表紙, 5-8-表紙, 5-9-表紙,
5-10-表紙, 5-11-表紙, 6-1-28
時枝俊江 2-2-15
時実象平 創-24
徳永瑞夫 1-1-23, 2-10-16, 3-2-30, 4-1-23,
4-8-30, 4-8-34, 4-9-30, 5-11-24,
6-1-28, 7-2-41
富岡 捷 1-3-31, 2-1-38
富沢幸男 2-8-18, 3-10-23, 4-12-7,
5-11-24, 6-5-25
豊田敬太 1-1-16, 1-1-23, 1-3-38,
2-4-23, 4-3-32

《な》

苗田康夫 1-1-16, 2-3-29, 2-7-31, 2-11-33,
3-7-33, 4-5-38, 4-11-33, 5-10-25,
6-1-20, 6-6-13
長井泰治 1-4-33, 5-7-7
永岡秀子 2-11-8, 3-7-36
中川信夫 3-10-16
中沢克也 1-3-37
中島竜美 6-10-23
永島利明 3-8-10
中島日出夫 1-1-23
永富映次郎 1-1-23, 1-3-38, 1-4-38,
1-5-27, 2-1-38, 2-3-35, 2-3-37

長沼宗裕 5-2-24
長野千秋 (長野) 2-1-23, 2-7-12, 2-11-24,
2-12-23, 3-3-6, 3-3-23, 3-4-23,
3-10-14, 4-2-17, 4-3-24, 4-3-32,
4-4-30, 4-7-38, 4-8-26, 4-9-36,
4-10-12, 4-11-29, 5-2-36, 5-9-9,
6-3-18, 6-5-13, 6-8-24
永原幸男 1-5-28
仲原湧作 1-3-38
中原佑介 3-2-4, 5-7-4, 6-5-4
中村利一 2-5-6, 2-10-14
中村雄二郎 4-6-4
並木普作 2-11-14, 2-12-23
成島東一郎 4-10-17
二木宏二 3-1-32, 3-2-28, 3-3-34, 3-4-34,
3-5-16
西江孝之 (西江) 2-12-11, 3-1-35, 4-6-22,
4-12-31, 5-3-29, 5-11-18, 6-4-27,
6-5-10, 6-7-16
西尾善介 1-1-23, 1-2-12, 1-3-38, 2-3-37,
3-1-30, 4-6-42, 4-7-32, 5-5-23
西沢 豪 2-2-6, 2-6-36
西田真佐雄 2-3-37, 2-12-36, 3-5-33, 3-9-37
西村政明 3-8-16
西本祥子 1-4-7, 2-1-16, 2-6-33, 3-3-31,
3-5-9, 3-10-30, 3-11-12, 4-12-37,
5-6-24, 6-1-28
根本治郎 5-2-39, 5-4-32, 5-10-25,
5-11-22, 6-1-35, 6-2-22, 6-3-35, 6-9-8,
6-10-35
野田真吉 (野田、N、野、N O S A)
創-5, 創-30, 1-1-23, 1-1-25, 1-4-4,
1-4-7, 1-5-11, 1-5-14, 1-5-27, 2-1-8,
2-2-23, 2-3-32, 2-5-6, 2-5-30, 2-7-28,
2-7-38, 2-8-38, 2-10-10, 2-11-11,
2-11-14, 2-12-23, 2-12-38, 3-1-23,
3-2-23, 3-2-38, 3-3-23, 3-3-38, 3-4-23,
3-5-33, 3-6-29, 3-6-33, 3-6-37, 3-7-4,
3-7-23, 3-7-38, 3-8-38, 3-9-38,
3-10-10, 3-12-38, 4-1-23, 4-2-20,
4-2-38, 4-3-25, 4-3-32, 4-3-34, 4-3-42,
4-4-42, 4-9-4, 4-11-42, 4-12-7,

4-12-42, 5-1-42, 5-2-13, 5-3-8, 5-5-42,
5-6-42, 5-7-42, 5-10-20, 5-11-8,
5-11-38, 6-1-38, 6-2-38, 6-3-38,
6-5-38, 6-6-38, 6-8-38, 6-9-27, 6-9-42,
6-10-26, 6-10-42, 7-1-25,
7-1-42, 7-2-42
能登節雄 1-2-17, 1-4-38, 2-3-37, 2-11-14,
2-12-23, 5-11-27
野間 宏 5-1-4
野村 修 4-9-15

《は》

ハオ・ハン 1-3-37
橋本洋二 3-9-8
長谷川龍生 2-2-4, 3-4-4, 5-3-8, 5-10-3
秦 康夫 3-5-36, 4-9-38
花田清輝 2-3-4, 3-11-4, 4-10-4
花松正ト 2-2-6, 2-2-17, 2-3-23, 2-3-37,
2-9-8, 3-12-10, 4-5-14, 5-10-32,
6-9-24
花谷晃至 2-12-28
羽仁 進 2-1-12, 3-4-14, 4-11-11, 5-3-13
羽田澄子 1-2-17, 2-1-17, 3-3-13
林 吾郎 5-9-14
林 光 5-1-10, 6-4-9
林田重男 2-6-23, 2-8-37
針生一郎 2-10-4, 5-3-4, 7-1-4
東 陽一 4-4-12, 6-1-28, 6-2-18, 6-3-22,
6-4-24, 6-5-26, 6-6-35, 7-1-18
日下野叔子 4-3-23
樋口源一郎 2-2-36, 2-6-35
久松 公 4-7-35
土方敬太 4-5-34
日高 昭 創-32, 2-7-33, 3-12-29
平田繁次 1-3-38
平田清耕 3-5-32
平野克己 2-7-23, 3-9-35, 4-3-33, 5-4-26,
5-6-23, 6-2-14, 6-6-32
広木正幹 5-2-34
広瀬涼二 6-8-36
広田 広 4-6-30

ブーヌール, ガストン 7-2-36
深江正彦 創-32, 1-3-38, 2-1-34, 2-3-37
福島辰夫 4-3-12, 4-4-9
福田善之 4-8-12
福田蓼汀 1-2-12
福本安彦 5-2-16, 6-3-11
富士田元彦 3-8-12
藤久真彦〔三神真彦〕 4-2-9
藤原富造 1-2-34
藤原智子 創-25, 1-1-23, 1-5-37, 2-3-17,
3-7-34, 4-3-32, 4-5-18, 5-6-24,
5-11-32, 6-3-21, 6-5-28, 6-6-33,
6-7-30, 6-9-37
ブニュエル, ルイス 4-8-34, 5-8-4,
6-10-37, 7-2-10
ブランカ, レモ 1-2-11
古川良範 1-5-16, 2-3-37, 3-3-16, 3-3-23,
3-4-23, 5-9-26
古田足日 2-6-14
編集部 創-25, 1-1-15, 1-1-23, 1-2-12,
1-3-9, 1-3-38, 4-6-17, 4-7-34, 4-8-28,
4-9-10, 4-9-21, 4-10-26, 5-2-15,
5-2-25, 5-9-18
星山 圭 6-7-18
堀 章男 1-3-30
堀 賢次 4-9-26
ホルジェイシュ, ヤン 4-10-32

《ま》

前田庸言 3-4-37
槇 英輔 1-3-6, 1-4-26
柁木恭介 2-1-4, 2-8-24, 2-12-4, 3-3-4,
3-6-33, 3-7-23, 4-2-4, 5-3-13, 5-4-4,
5-10-34, 6-6-4
松尾一郎 3-7-35, 5-4-34, 5-6-24, 6-4-26
松岡新也 1-1-17
松川八洲雄 2-12-6, 3-8-26, 4-1-7, 4-3-33,
4-5-39, 4-6-20, 4-11-15, 5-4-24,
6-2-31, 6-9-39, 6-10-10, 6-10-32,
7-1-30
松田道雄 4-7-27

松本俊夫 (松本) 創-6, 創-32, 1-1-24,
 1-3-38, 1-5-4, 1-5-38, 2-1-23, 2-2-32,
 2-6-6, 2-8-24, 2-8-34, 2-10-30,
 2-10-38, 3-1-23, 3-2-6, 3-5-33, 3-6-12,
 3-6-33, 3-7-23, 3-9-28, 3-12-6, 4-3-15,
 4-3-32, 4-11-21, 5-2-19, 5-8-10,
 5-10-14, 6-4-28, 6-8-34, 6-10-4, 7-1-4
 真鍋呉夫 4-5-4
 真鍋 博 4-2-32, 5-3-8, 5-7-22
 間宮則夫 1-2-38, 2-4-37, 2-12-14, 3-1-15,
 3-2-16, 4-3-32, 4-9-39, 5-10-12,
 6-2-24
 丸山章治 (丸山) 1-2-17, 1-5-27, 1-5-38,
 2-1-38, 2-3-37, 2-4-6, 2-5-12, 2-12-16,
 3-8-8, 4-3-33, 4-4-40, 4-9-37, 4-10-7,
 5-2-31, 5-3-13, 5-3-24, 5-9-26,
 5-10-37, 6-7-10
 三上 章 4-3-32, 5-5-22
 水木荘也 1-5-7
 水野 肇 1-3-32, 1-4-28, 1-5-32, 2-1-32,
 2-2-34, 2-3-30, 3-9-10
 道林一郎 1-4-14, 3-3-15
 宮井陸郎 6-7-36, 6-9-11
 宮崎明子 3-9-36, 4-3-32
 宮崎 彰 1-4-7
 宮永次雄 4-12-12
 宮本正名 創-8
 虫明亜呂無 6-8-17
 村井米子 1-2-12
 村尾 薫 4-12-15, 6-10-34
 村木良彦 6-6-18
 村田達二 1-1-23, 2-3-37
 村山新治 3-1-23
 持田裕生 4-3-32, 5-9-11, 6-2-26, 6-6-7,
 7-1-22
 望月武夫 4-12-12
 物江竜慶 4-12-24
 森 和子 創-12
 森 貞夫 1-3-23
 森 秀人 6-7-20
 森川英太郎 6-1-4
 森本和夫 4-8-4

森谷 巖 3-10-18, 4-7-39
 諸岡青人 4-3-32
 諸橋 一 4-3-32

《や》

八木仁平 創-32, 1-5-27, 2-9-23
 八木 進 2-1-34
 安井 治 6-9-20
 柳田 守 2-7-32
 柳原良平 5-7-12
 八幡省三 1-4-7, 3-2-10, 3-4-36, 3-12-36,
 6-8-32
 藪下泰司 1-3-24
 矢部正男 2-3-10, 2-5-6, 2-7-12, 2-12-27,
 3-7-10, 3-10-32
 山→山之内重己
 山内達一 2-4-34
 山形雄策 (町田敬一郎) 4-3-34
 山岸一章 1-2-34, 1-4-7, 2-5-10, 2-12-23
 山際永三 (高倉光夫) 2-10-23, 3-2-36,
 3-7-16, 4-1-23, 5-1-14, 5-5-13, 5-9-6,
 6-4-34
 山口勝弘 4-6-12, 6-1-14
 山口健二 5-4-29
 山口淳子 2-1-18, 2-12-37
 山口義夫 3-10-32
 山下菊二 4-9-17
 山田和夫 2-4-35, 2-10-26, 3-4-6
 山田三吉 3-3-23, 3-4-23
 山田宗睦 4-7-9
 山中 恒 6-7-28
 山之内重己 (山之内、山) 1-3-38, 2-5-27,
 2-8-32, 3-8-35, 4-1-23, 4-4-41, 4-6-47,
 4-8-39, 4-10-30, 5-1-37, 5-2-33,
 5-2-36, 5-2-37, 5-3-35, 5-4-39, 5-5-35,
 5-6-38, 5-10-35, 5-11-34, 6-2-34,
 6-6-26
 山本善次郎 1-3-24
 山本竹良 1-4-38
 山本太郎 5-8-3
 山元敏之 4-3-32, 6-5-30

山家和子 創-12, 1-4-24
 湯浅譲二 3-6-25, 6-2-10
 吉井 忠 5-1-8
 吉川 透 2-1-37
 吉田直哉 3-9-6
 吉田喜重 3-6-17, 3-12-4, 4-6-16, 4-9-36
 吉田六郎 2-7-12
 吉野 弘 5-3-3
 吉原順平 2-7-8, 2-7-12, 4-8-24
 吉見 泰 (吉見) 創-3, 創-12, 1-1-4,
 1-1-11, 1-2-4, 1-2-28, 1-4-7, 1-5-15,
 2-2-16, 2-3-37, 2-3-38, 2-4-23, 2-5-17,
 2-7-12, 2-9-6, 2-11-14, 2-11-31,
 2-12-23, 3-1-11, 3-1-36, 3-4-38, 3-5-6,
 3-5-9, 4-1-36, 4-2-14, 4-4-32, 4-5-30,
 4-9-13, 4-11-17, 5-3-8, 5-4-14, 5-8-20
 吉村徳蔵 4-2-28
 吉本隆明 4-11-4
 米長 寿 3-8-17, 3-11-23, 6-4-11

《ら》

ラバルト, アンドレ・S 4-4-35
 ランボオ, A (ランボオ) 4-10-3, 4-12-3
 リエラ, エミリオ・ガルシア 4-8-30,
 4-9-30

ルフォール, ラシェル 6-5-22
 レズワルシュ, デオ 5-2-24
 レネエ, アラン 1-5-23, 6-7-26, 6-9-4
 魯 迅 4-9-3
 ローサ, ポール 2-4-32, 2-6-28, 2-7-34,
 2-9-32, 2-12-31
 ロード, シンクレア 2-4-32, 2-6-28,
 2-7-34, 2-9-32, 2-12-31
 ロブ・グリエ, アラン 6-7-4
 Lorca, F・G 4-11-3

《わ》

わ 6-1-19
 Y 5-4-35
 若林 理 2-5-6
 早稲田大学稲門シナリオ研究会 4-3-29
 和田 勉 3-10-4, 4-4-4, 5-1-16, 6-3-4
 渡辺広士 4-5-26
 渡辺正己 1-1-6, 2-1-23, 2-3-37, 2-7-6,
 2-12-29, 3-4-31, 4-8-36, 4-9-7
 渡辺泰雄 5-9-12
 ワット, ハリー 5-8-8